

千葉市公園整備標準

平成30年4月1日 改訂

公園緑地部公園建設課

目次

1 はじめに

2 基本事項

(1) 植栽工

(2) 給水設備工

(3) 雨水排水設備工

(4) 汚水排水設備工

(5) 電気施設整備工

(6) 園路広場整備工

(7) 遊戯施設整備工

(8) サービス施設整備工

(9) 管理施設整備工

(1 0) 建築施設組立設置工

(1 1) その他 (関連基準、参考基準など)

3 公園施設標準図

(1) 施設番号一覧表

(2) 各施設図面 1 ~ 2 6

1 はじめに

本標準は、千葉市内の都市公園整備の標準施設を示すことを目的として作成したものであり、市が管理する公園の新設・改築、大規模な修繕等に適用する。千葉市公園工事標準図は、千葉市内の公園整備工事の標準化と統一化を図ったものである。なお、標準図の構造は、標準的な現場におけるものであるため、現場条件によっては別途検討する。

また、これに記載のない道路付属施設や舗装、給排水施設の仕様については各所管の基準に従う。本標準は平成30年4月1日から適用する。なお本標準は適宜見直しを行うものとする。

2 基本事項

(1) 植栽工

ア 高木植栽工

『緑化協議における基準』（公園緑地部緑政課）に従う。植栽の樹種・規格は周辺環境を考慮したうえで決定すること。植栽間隔・密度については周辺等からの見通しを確保すること。病虫害発生や隣地への影響を考慮した樹種選定や配置に努めること。

(ア) 支柱

『千葉市積算基準 共通編その2』の支柱構造を標準とする。

(イ) 土壌改良材

現場土質を十分考慮し、『公園施設標準図』の「植穴容量」に基づき使用する。

(鉢容量は、『公園緑地工事の積算』（公園緑地工事積算研究会編）「樹木の鉢径植穴容量等の算出方法」から算出。)

(2) 給水設備工

ア 水栓類取付工

(ア) メーターボックス、水栓類

千葉県水道局または千葉市水道局の指導に基づき設計する。

園内の配管は、HIVP管を使用する。

埋設配管の屈曲点には、埋設表示杭を設置する。

(3) 雨水排水設備工

ア 側溝工

(ア) L型側溝

公園入口部の段差は、『歩行空間マニュアル』（土木部）に基づき1cmとし、『道路施設標準図』（土木部）に従う。（250Bについては記載がないため、メーカーの図面を参考にする。）

(イ) U型側溝

公園敷地内はU250を標準とし、『道路施設標準図』（土木部）に従う。

イ 管渠工

(ア) 公園管渠

『千葉市下水道設計指針(管きよ編)』(千葉市建設局)『千葉市排水設備確認申請審査基準』(下水道管理部)『雨水浸透施設技術指針(案)』((社)雨水貯留浸透技術協会編)に基づき設計する。

園内管渠径は、維持管理を考慮し 150 以上とする。

ウ 集水樹・マンホール工

(ア) 集水樹

管渠工と同じ。樹規格は維持管理を考慮し 450 以上とする。(『公園施設標準図』参照)

(イ) 公共雨水樹

千葉市型公共樹の認定品(『千葉市下水道施設標準構造図』下水道建設部)を使用する。本管への接続方法については、下水道維持課と協議し決定する。

(4) 汚水排水設備工

ア 管渠工

(ア) 公園管渠

『千葉市下水道設計指針(管きよ編)』(千葉市建設局)『千葉市排水設備確認申請審査基準』(下水道管理部)に基づき設計する。園内管渠径は、維持管理を考慮し 150 以上とする。

イ 汚水樹

(ア) 集水樹

管渠工と同じ。樹の規格は維持管理を考慮し、450 以上とする。(『公園施設標準図』参照)

(イ) 公共汚水樹

千葉市型公共樹の認定品(『千葉市下水道施設標準構造図』下水道建設部)を使用する。本管への接続方法については、下水道維持課と協議し決定する。

(5) 電気設備工

ア 照明設備工

(ア) 引込柱、分電盤(引込用開閉器盤)

『公園施設標準図』のとおり。

(イ) 照明灯

園内の主要な場所の照度が、概ね 1 ルクス以上を確保できる配置とする。照明灯は LED を標準とする(『公園施設標準図』参照)。光害対策が必要な場合は環境配慮型を使用する。

(ウ) 埋設ケーブル等

園内の配管は、FEP 管、電線はエコケーブル CE/F 線を使用する。

埋設箇所には埋設標示シートを設置し、配管の屈曲点には埋設表示杭を入れる。

(6) 園路広場整備工

ア 舗装撤去工

(ア) 舗装切断等

給排水本管接続等に必要な舗装掘削は、『道路掘削復旧基準』(土木部)に従う。

イ アスファルト舗装工・透水性舗装工・アスファルト系舗装工

(ア) 透水性アスファルト舗装

園内舗装は『雨水浸透施設技術指針(案)』((社)雨水貯留浸透技術協会編)に基づく、透水性舗装を基本とする。『歩行空間マニュアル』(土木部)の「6 - 2 歩道舗装及び排水施設の構造」に従う。

ウ コンクリート系舗装工

(ア) コンクリート舗装

『公園施設標準図』のとおり。

(イ) 平板舗装

園内舗装は『雨水浸透施設技術指針(案)』((社)雨水貯留浸透技術協会編)に基づく、透水性舗装を基本とする。『公園施設標準図』のとおり。参考基準『歩行空間マニュアル』(土木部)「6 - 2 歩道舗装及び排水施設の構造」

エ 土系舗装工

(ア) 石灰岩ダスト舗装

『公園施設標準図』のとおり。

オ 園路縁石工

(ア) コンクリート縁石

構造、使用材料については、『道路施設標準図』(土木部)に従う。

カ 階段工

(ア) コンクリート階段、擬木階段、石材階段等

「千葉市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例」を満たすように設計する。参考図書『ユニバーサルデザインによるみんなのための公園づくり』((一社)日本公園緑地協会発行)

(イ) スロープ

「千葉市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例」を満たすように設計する。参考図書『ユニバーサルデザインによるみんなのための公園づくり』((一社)日本公園緑地協会発行)

キ 視覚障害者ブロック工

(ア) 透水性視覚障害者ブロック

園内舗装は『雨水浸透施設技術指針(案)』((社)雨水貯留浸透技術協会編)に基づく、透水性舗装を基本とする。『歩行空間マニュアル』(土木部)に基づき計画し、必要に応じて千葉市視覚障害者協会の助言を仰ぐ。

(7) 遊戯施設整備工

ア 遊具組立設置工

遊具の選択においては、周辺の公園に設置されている遊具とのバランスを考慮し、種類を検討すること。

(ア) 各種遊具

『公園施設標準図』のとおり。設置遊具については地元住民等と十分に調整を図った上で決定すること。

(イ) ゴムマット

『公園施設標準図』のとおり。ブランコ、すべり台等、利用により着地面が削れる恐れのある場合は設置する。

(8) サービス施設整備工

ア 水飲み場工

(ア) 水飲み場

『公園施設標準図』のとおりとし、「千葉市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例」を満たすように設計する。汚水枡については、雨水流入を防ぐよう対策を行う。参考図書『ユニバーサルデザインによるみんなのための公園づくり』((一社)日本公園緑地協会発行)

イ ベンチ・テーブル工

(ア) ベンチ

『公園施設標準図』のとおり。

(9) 管理施設整備工

ア 柵工

(ア) 外柵

『公園施設標準図』のとおり。道路境界部は横ビーム式(外柵 A)、民地境界部はメッシュパネル式 H=1500(外柵 B)を標準とし、特に必要な場合は H=1800 を使用する。基礎は布基礎を標準とし、園内土砂が外部に流出しないよう設計する。

(イ) 手すり

『公園施設標準図』のとおりとし、「千葉市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例」を満たすように設計する。参考図書『ユニバーサルデザインによるみんなのための公園づくり』((一社)日本公園緑地協会発行)

イ 車止め工

(ア) 車止め

『公園施設標準図』のとおりとし、「千葉市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例」を満たすように設計する。参考図書『ユニバーサルデザインによるみんなのための公園づくり』((一社)日本公園緑地協会発行)

ウ 園名板工

(ア) 園名板

『公園施設標準図』のとおり。

(イ) 制札板

『公園施設標準図』のとおり。

(10) 建築施設組立設置工

ア 四阿工・パーゴラ工・シェルター工・便所工

(ア) 四阿・パーゴラ・シェルター・便所

「千葉市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例」を満たすように設計する。参考図書『ユニバーサルデザインによるみんなのための公園づくり』((一社)日本公園緑地協会発行)

建築物(四阿、シェルター、便所)を設置する際は、建築審査課へ届け出ること。

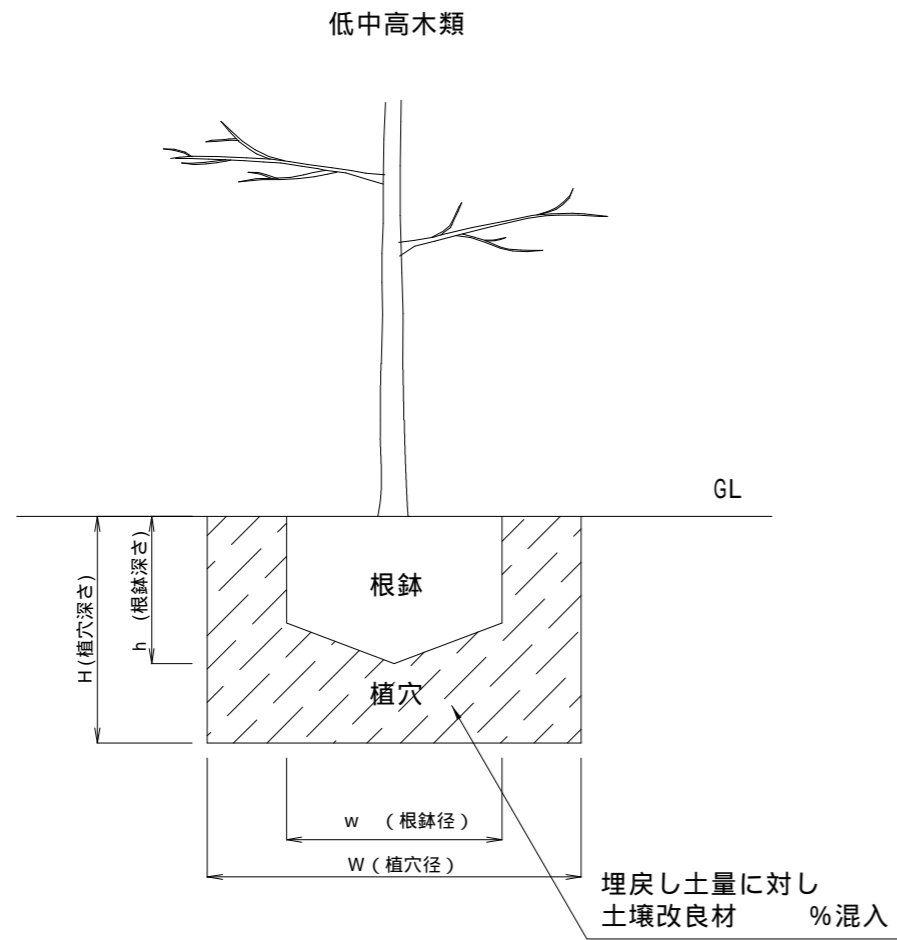
(11) その他(関連基準、参考基準など)

- ・『緑化協議における基準』(公園緑地部緑政課)
- ・「千葉市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例」(千葉市条例第90条)
- ・『歩行空間マニュアル』(土木部)
- ・『道路施設標準図』(土木部)
- ・『道路掘削復旧基準』(土木部)
- ・『雨水浸透施設技術指針(案)』((社)雨水貯留浸透技術協会編)
- ・『千葉市下水道設計指針(管きよ編)』(千葉市建設局)
- ・『千葉市下水道施設標準構造図』(下水道建設部)
- ・『千葉市排水設備確認申請審査基準』(下水道管理部)
- ・『遊具の安全に関する基準 J P F A - S P - S 』

3 千葉市公園工事標準図

図面 番号	資材名称	規格 1 (仕様)	規格 2 (寸法)	単位	備考
1	植穴容量				
2	集水柵	雨水用・細目グレーチング鎖付	450×450	基	
	集水柵(浸透型)	雨水用・細目グレーチング鎖付	450×450	基	
3	公園照明灯	LED ランプ・ポール・安定器・アンカーボルト一式	H=5000	基	
4	公園照明灯(下向き)	LED ランプ・ポール・安定器・アンカーボルト一式	H=5000	基	
5	引込柱	鋼管ポール・キャップ・引込用フックバンド	H=5000 (L=5.8m 115.3)	基	
	引込用開閉器盤(1~3)灯用	屋外引込用開閉器盤・制御回路一式(金属バンド含む)	ELB2 P30/15A	基	
6	透水性平板ブロック (視覚障害者用平板ブロック含む)	カラー(車両対応)	300×300×80	m ²	
	透水性平板ブロック (視覚障害者用平板ブロック含む)	カラー(歩道対応)	300×300×60	m ²	
	コンクリート舗装	歩道対応		m ²	
	ダスト舗装	スクリーニングス	t = 40	m ²	
7	大型2連ブランコ(柵共)		H=2500	基	
8	小型2連ブランコ(柵共)		H=2000	基	
9	大型4連ブランコ(柵共)		H=2500	基	
10	大型すべり台		H=1900~2000	基	
11	小型すべり台		H=1500~1600	基	
12	2連低鉄棒		H=900・1200	基	
13	3連低鉄棒		H=800・1000・1200	基	
14	ゴムマット	コンクリート接着式	1000×2000	枚	
	ゴムマット	コンクリート接着式	1000×1000	枚	

15	水飲み	水飲み水栓 レバー式・横水栓 プッシュ式		基	
16	背付ベンチ	再生木材・肘掛付	W=1800~1840 座面高 400~416	基	
17	背無ベンチ	再生木材・肘掛付	W=1800~1840 座面高 400~404	基	
18	外柵 A	横ビーム式 傾斜 10°まで対応	H=650 @3000	m	
19	外柵 B1	メッシュパネル式 平坦型 傾斜 1°まで	H=1500 @2000	m	
	外柵 B2	メッシュパネル式 勾配型 傾斜 1°~35°	H=1500 @2000	m	
20	外柵 C1 (参考図)	メッシュパネル式 平坦型 傾斜 1°まで	H=1800 @2000	m	
	外柵 C2 (参考図)	メッシュパネル式 勾配型 傾斜 1°~35°	H=1800 @2000	m	
21	外柵 D (参考図)	縦格子式 傾斜 45°まで対応	H=1100 @2000	m	
22	外柵 E (参考図)	縦格子式 傾斜 45°まで対応	H=1500 @2000	m	
23	手すり			m	
24	車止め	再生プラスチック 可動式	H=450 250	基	
	車止め	再生プラスチック 固定式	H=450 250	基	
25	園名板		H=1400	基	
26	制札板		H=2000	基	



高木根鉢土量 (参考)

	幹周 (m)	鉢径 (m)	鉢の深さ (m)	植穴径 (m)	植穴深さ (m)	鉢容量 (m ³)	植穴容量 (m ³)	埋戻し土量 (m ³)
A	C= 0.10未満	0.33	0.25	0.69	0.37	0.017	0.090	0.073
B	C= 0.10以上 0.15未満	0.38	0.28	0.75	0.40	0.028	0.140	0.112
C	C= 0.15以上 0.20未満	0.47	0.33	0.87	0.46	0.061	0.270	0.209
D	C= 0.20以上 0.25未満	0.57	0.39	0.99	0.53	0.110	0.440	0.330
E	C= 0.25以上 0.30未満	0.66	0.45	1.11	0.59	0.170	0.650	0.480
F	C= 0.30以上 0.35未満	0.71	0.48	1.17	0.62	0.210	0.760	0.550
G	C= 0.35以上 0.45未満	0.90	0.59	1.41	0.75	0.400	1.340	0.940
H	C= 0.45以上 0.60未満	1.13	0.74	1.71	0.90	0.740	2.280	1.540
I	C= 0.60以上 0.75未満	1.41	0.91	2.07	1.09	1.320	3.700	2.380
J	C= 0.75以上 0.90未満	1.70	1.08	2.43	1.28	2.080	5.450	3.370

中低木根鉢土量 (参考)

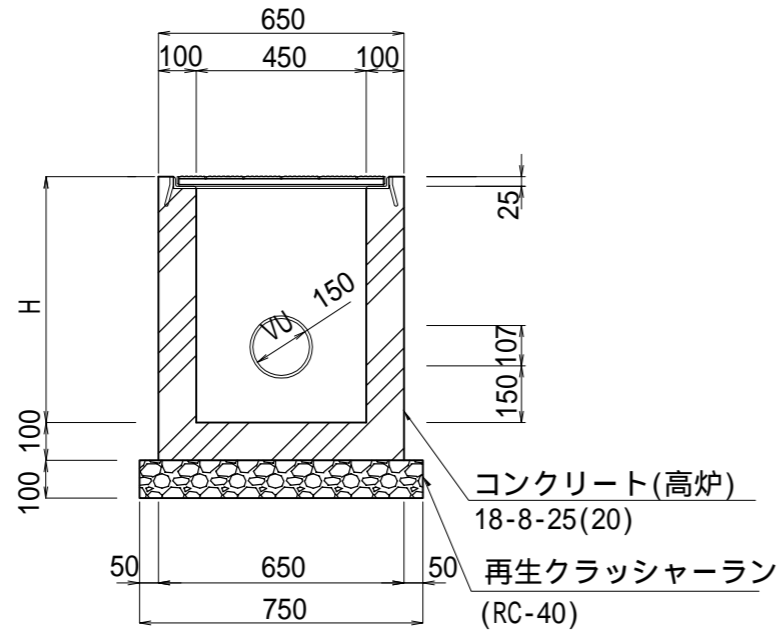
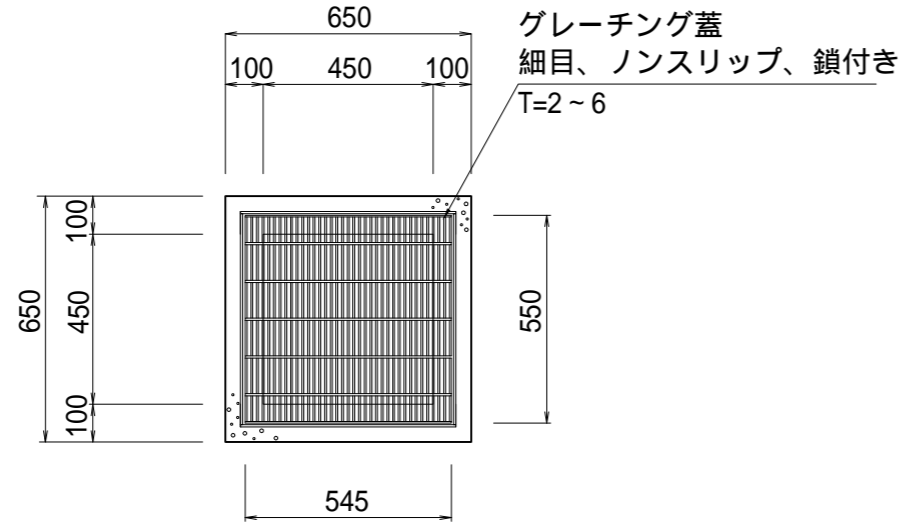
	樹高 (m)	鉢径 (m)	鉢の深さ (m)	植穴径 (m)	植穴深さ (m)	鉢容量 (m ³)	植穴容量 (m ³)	埋戻し土量 (m ³)
K	H= 0.30未満	0.15	0.08	0.29	0.23	0.001	0.015	0.014
L	H= 0.30以上 0.50未満	0.17	0.10	0.33	0.26	0.002	0.022	0.020
M	H= 0.50以上 0.80未満	0.20	0.12	0.37	0.28	0.004	0.030	0.026
N	H= 0.80以上 1.00未満	0.22	0.13	0.41	0.31	0.005	0.040	0.035
O	H= 1.00以上 1.50未満	0.26	0.16	0.46	0.35	0.008	0.057	0.049
P	H= 1.50以上 2.00未満	0.30	0.19	0.54	0.40	0.013	0.090	0.077
Q	H= 2.00以上 2.50未満	0.35	0.23	0.61	0.46	0.022	0.133	0.111
R	H= 2.50以上 3.00未満	0.40	0.26	0.69	0.51	0.032	0.188	0.156

千葉市公園工事標準図

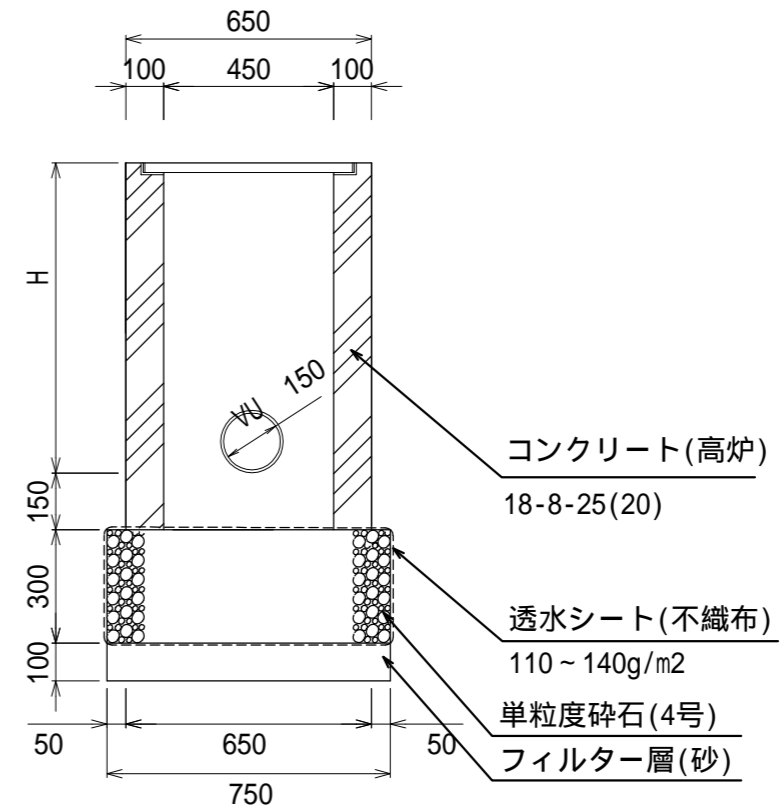
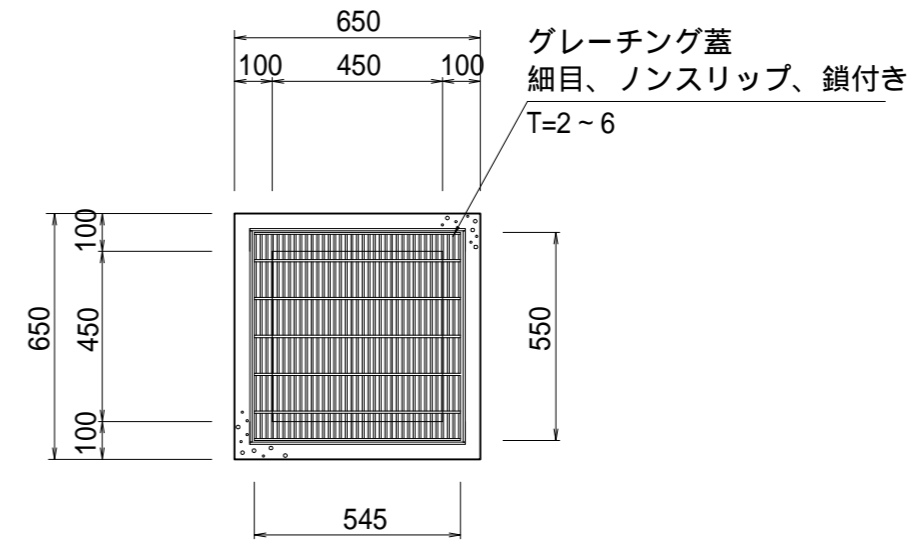
図面名	植穴容量
番号	1
縮尺	no Scale

千葉市都市局公園緑地部

集水枳



集水枳(浸透型)



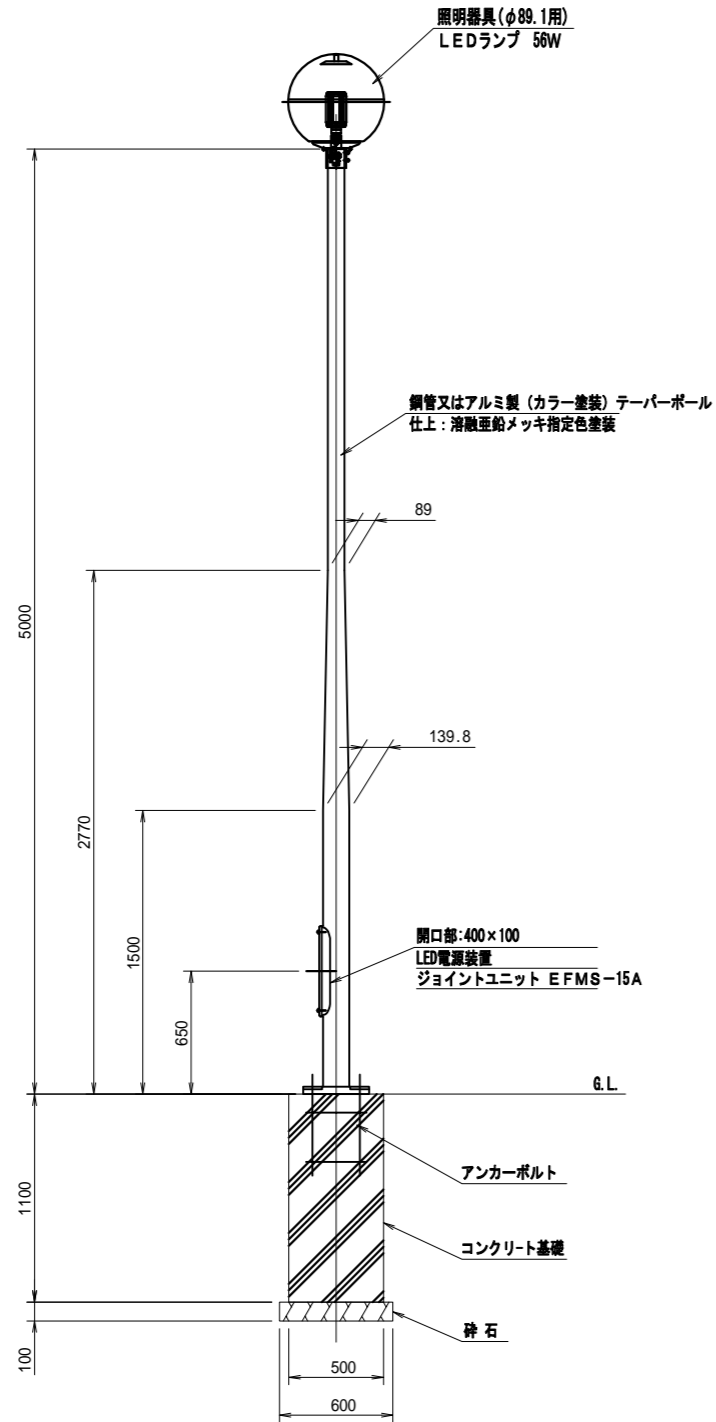
千葉市公園工事標準図

図面名	集水枳
番号	2
縮尺	A3 S=1:20

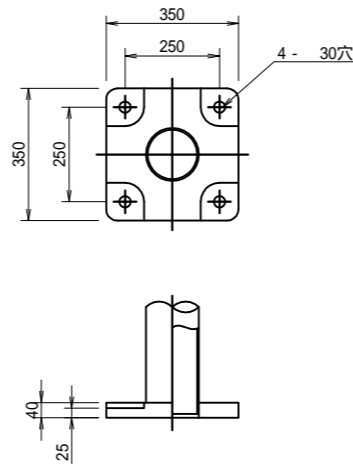
千葉市都市局公園緑地部

照明柱姿図 S=1:40, 20, 10

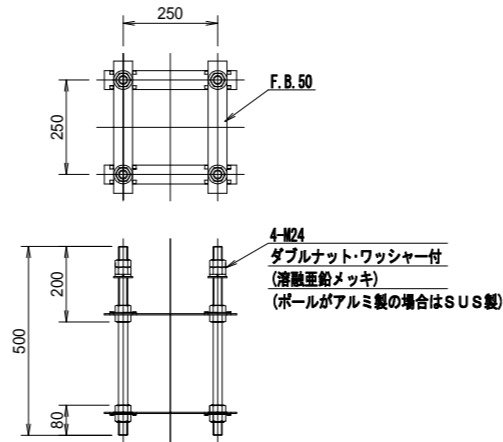
照明柱姿図 S=1:40



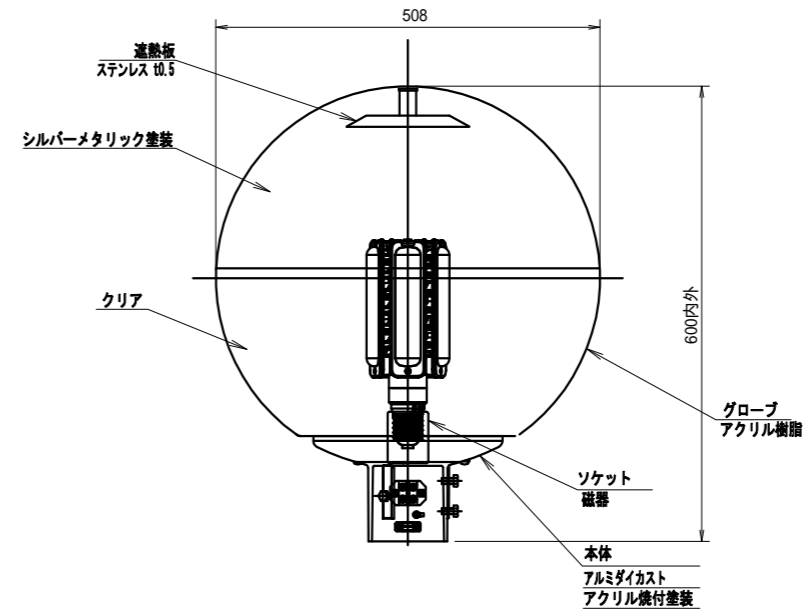
ベースプレート詳細図 S=1:20



アンカーボルト詳細図 S=1:20



照明器具詳細図 S=1:10



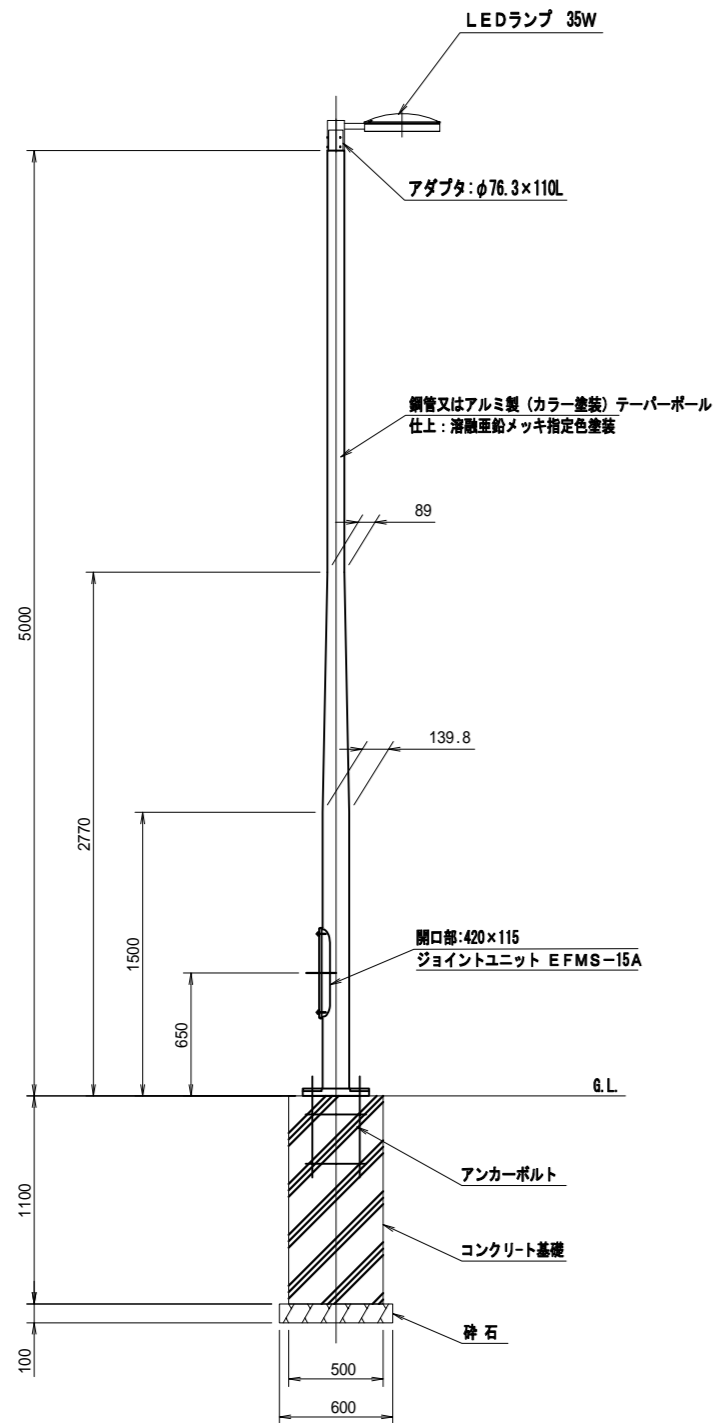
ポールはJISH8641溶融亜鉛メッキ2種HDZ55メッキ後、ウレタン樹脂系上塗塗装(ダークブラウン色)
 灯具は光害対策として上方光速比15%以下とする。
 ポール挿入寸法が異なる場合アダプターを使用すること。
 アンカーボルトナットはダブルナットとし、保護キャップを取り付けること。
 照明灯内の主配線は、EM-EEF2.0-2Cとする。
 ランプは、56Wを標準とする。ただし、現場の状況を考慮し、適切な選択をすること。
 引込柱までの配線は、3芯を標準とするが、現場状況によって2芯に換えることができる。ただし、この場合は、各照明灯に接地棒を取り付けること
 引込柱を接地しない場合は、接地棒を取り付けること

千葉市公園工事標準図	
図面名	照明灯
番号	3
縮尺	A3 図示

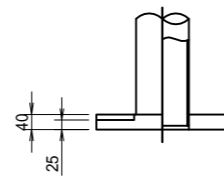
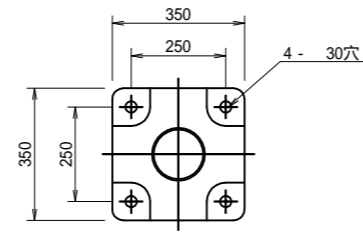
千葉市都市局公園緑地部

照明柱姿図 S=1:40, 20, 10

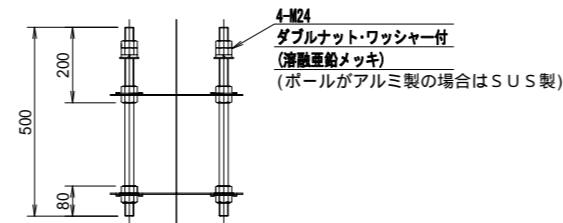
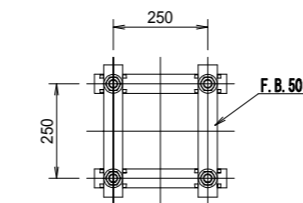
照明柱姿図 S=1:40



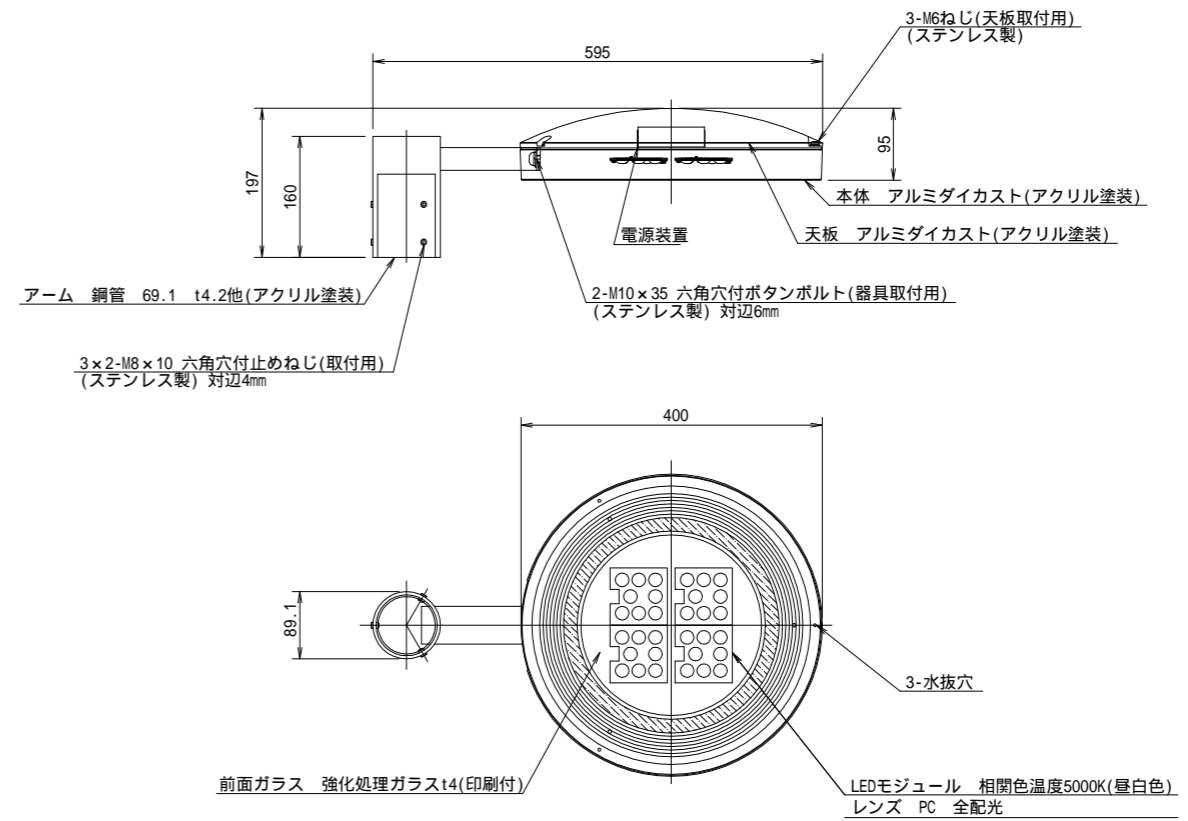
ベースプレート詳細図 S=1:20



アンカーボルト詳細図 S=1:20



照明器具詳細図 S=1:10

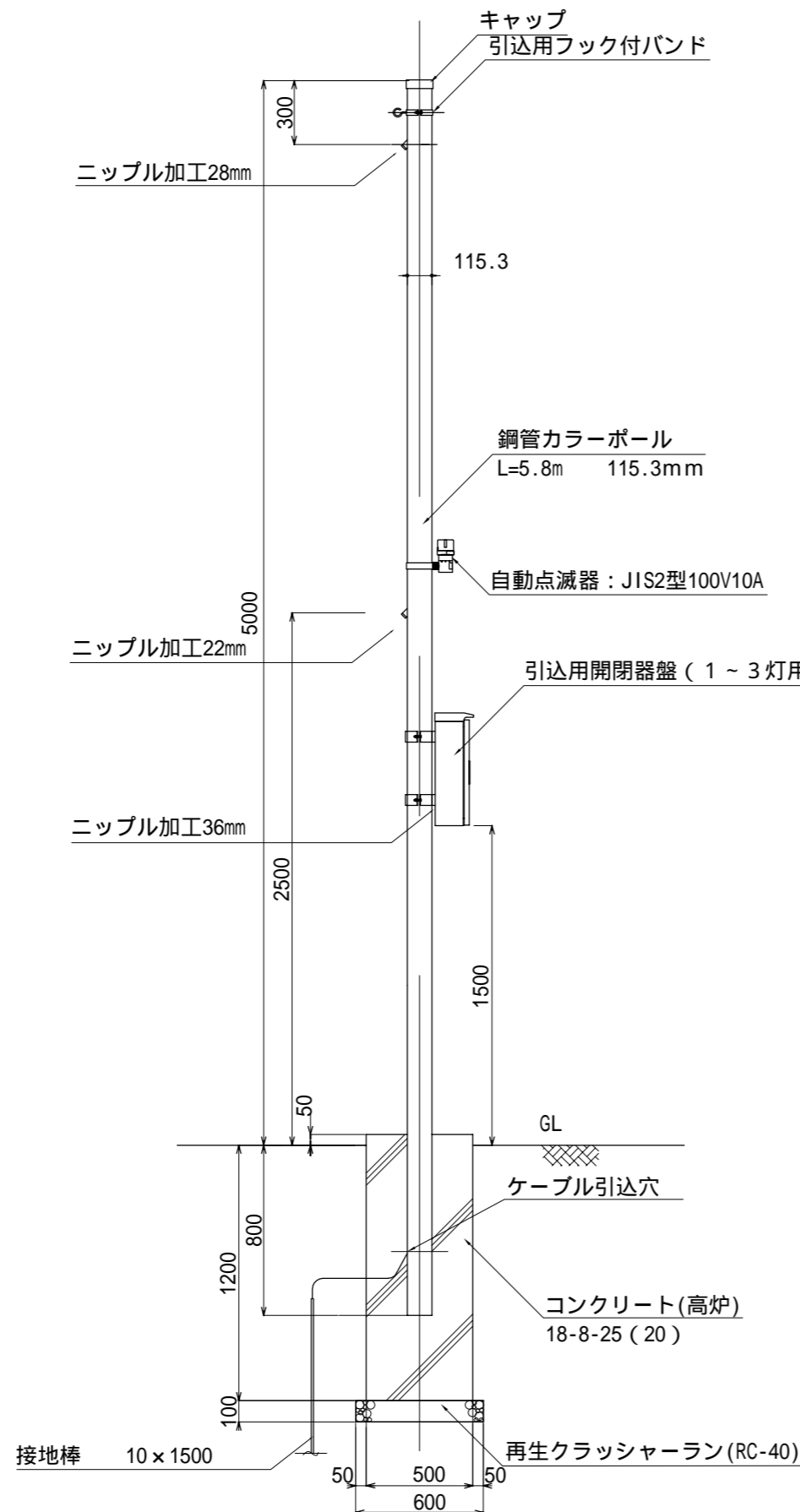


配光タイプは現場状況に応じて全方向・横方向・前方向の3タイプから選択すること
照明灯内の主配線は、EM-EEF2.0-2Cとする
引込柱までの配線は、3芯を標準とするが、現場状況によって2芯に換えることができる。
ただし、この場合は照明灯に接地棒を設置すること
外装の色は、ダークブラウン色とする。
アンカーボルトナットはダブルナットとし、保護キャップを取り付けること。
引込柱を接地しない場合は、接地棒を取り付けること。

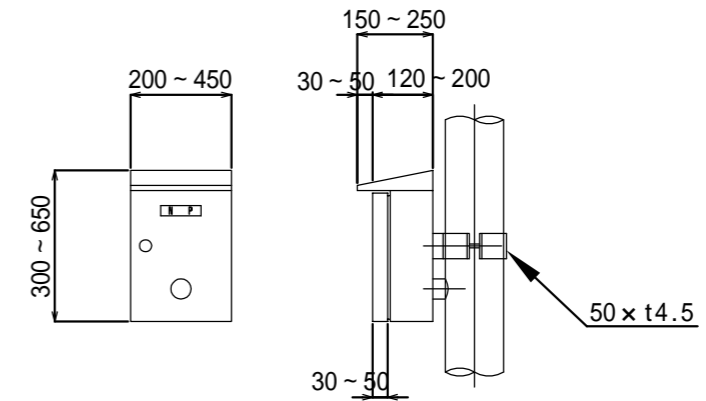
千葉市公園工事標準図	
図面名	下向き照明灯
番号	4
縮尺	A3 図示

千葉市都市局公園緑地部

引込柱 S=1:30



引込用開閉器盤(1 ~ 3 灯用) S=1:15



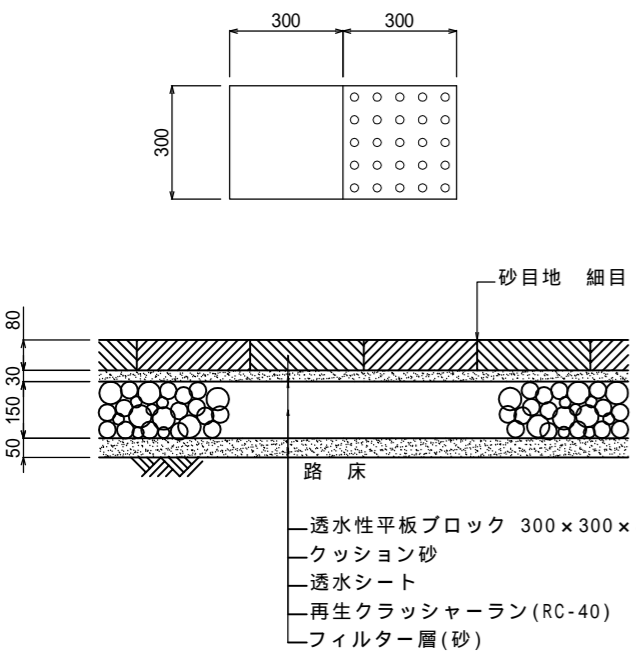
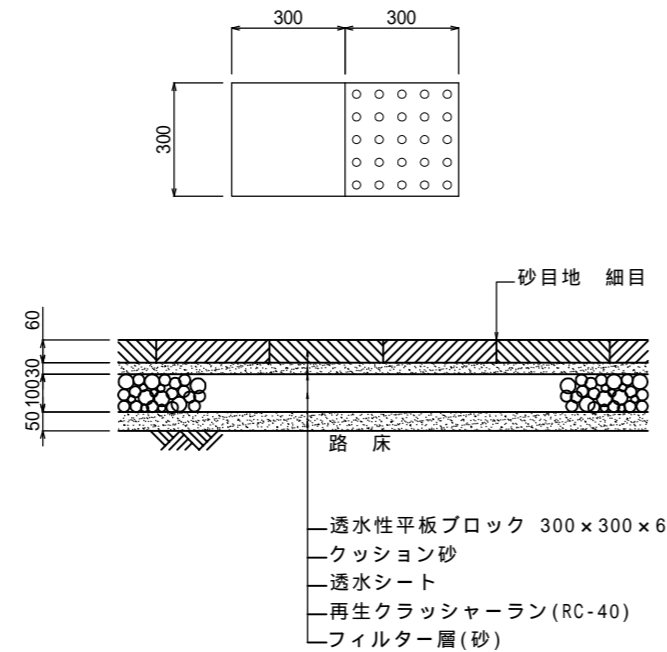
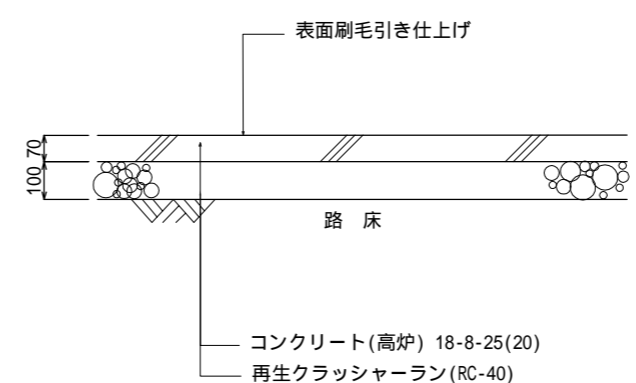
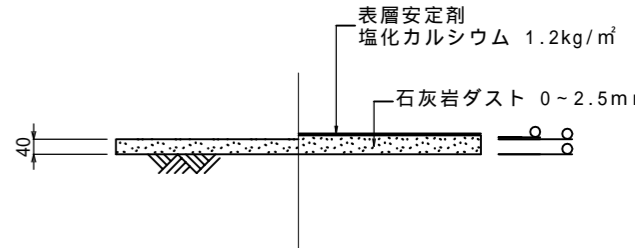
箱体は、鋼板製メラミン焼付塗装で防水加工とする。
漏電ブレーカーは、ELB2P30 / 15Aとする。
ポール取付バンドは、溶融亜鉛メッキとする。
鍵は、A - 1147ステンレス製とする。
セレクトスイッチ (手動-切-自動) 表示灯の取付。
外装の色は、ダークブラウン色とする。

主配線は、EM-EEF2.0-2Cとする。
接地棒の深さは、GL-750mm以上とする。
外装の色は、ダークブラウン色とする。

千葉市公園工事標準図

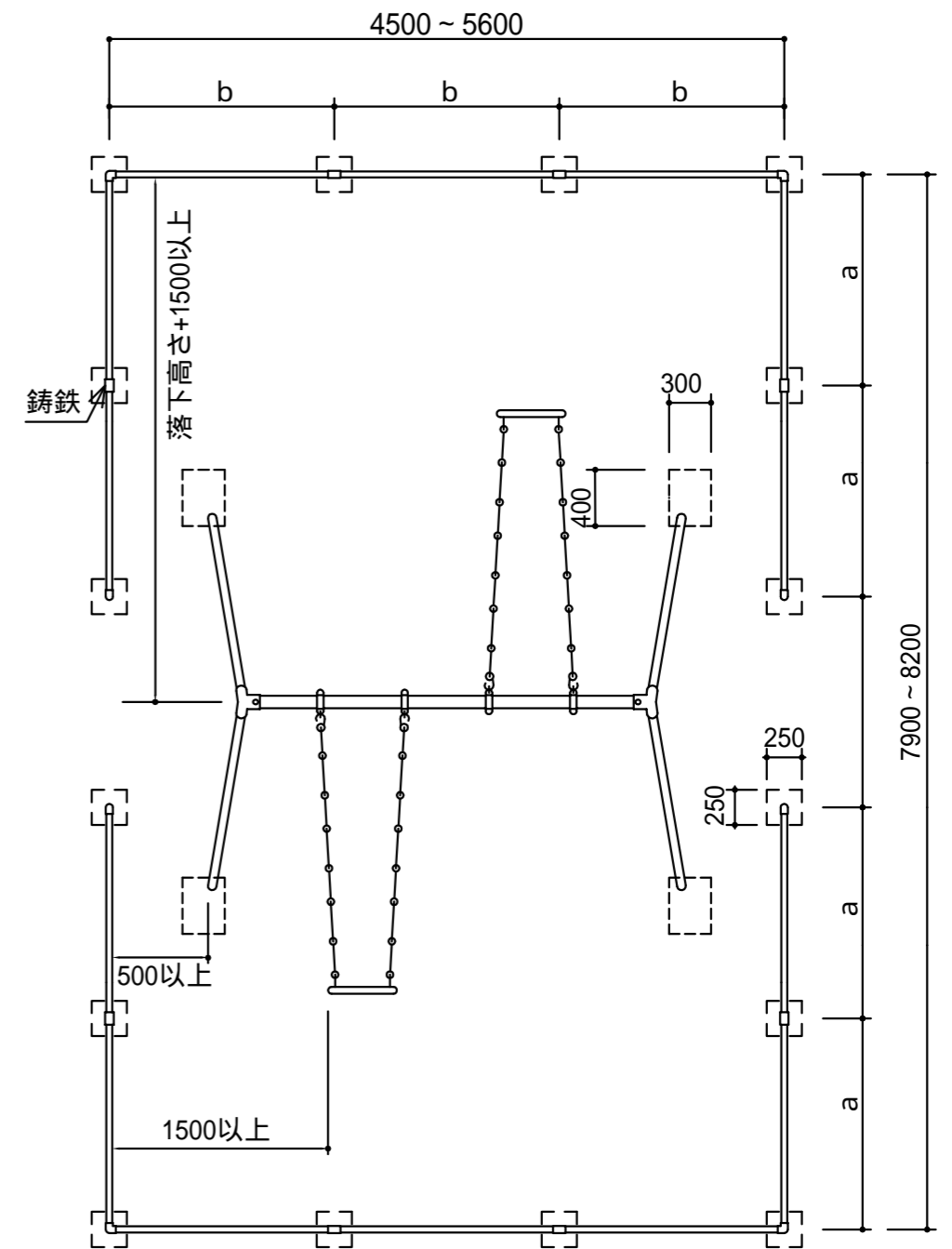
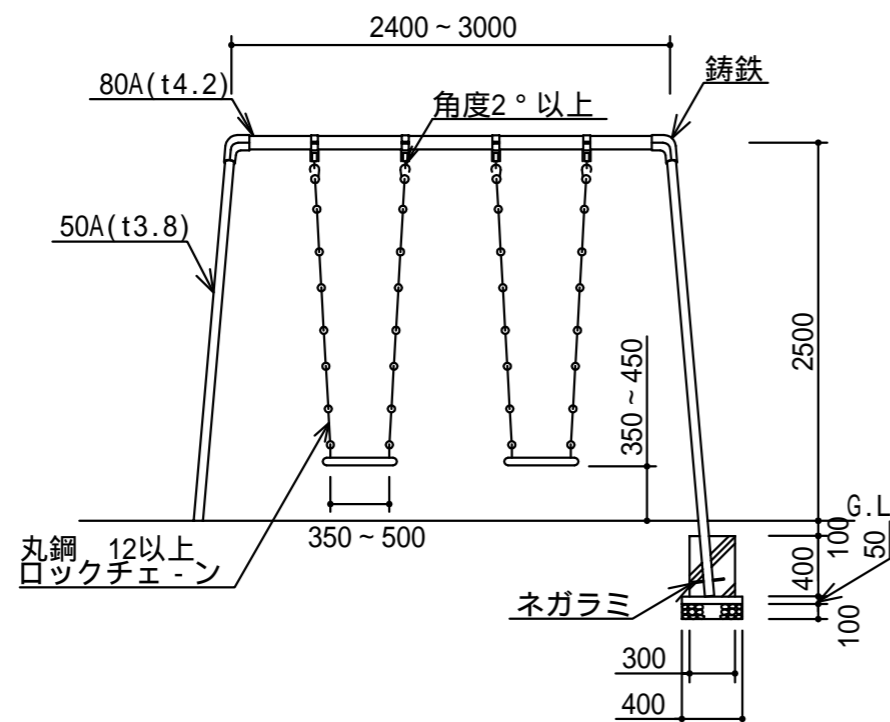
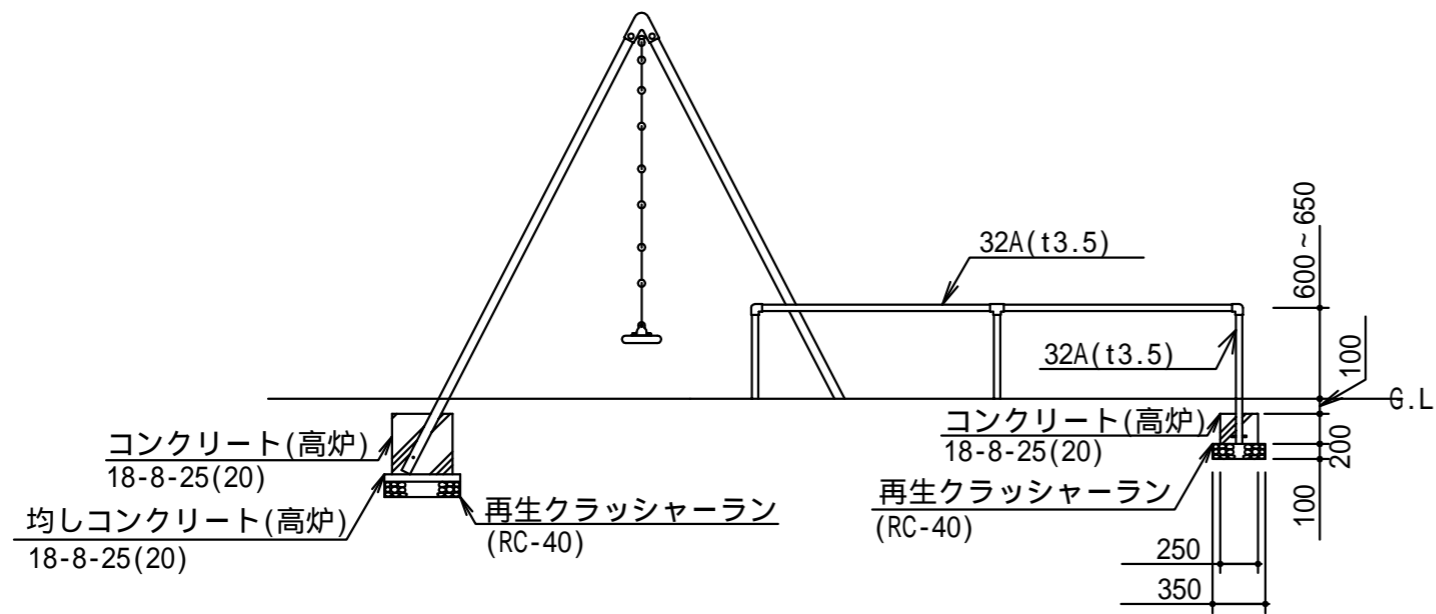
図面名	引込柱・引込用開閉器盤(1 ~ 3 灯用)
番号	5
縮尺	A3 図示

千葉市都市局公園緑地部

透水性平板ブロック (車道対応) (視覚障害者用平板ブロック)	透水性平板ブロック (歩道対応) (視覚障害者用平板ブロック)	コンクリート舗装 (歩道対応)	ダスト舗装
 <p>断面図</p> <p>透水シートは、長繊維化繊系不織布で透水係数10cm/sec以上引張り強さは294N (30kgf) /5cm以上とする。</p>	 <p>断面図</p> <p>透水シートは、長繊維化繊系不織布で透水係数10cm/sec以上引張り強さは294N (30kgf) /5cm以上とする。</p>	 <p>断面図</p>	 <p>断面図</p> <p>注) 〇はローラー転圧を示す</p> <p>ダスト舗装は均一に敷均し、散水、転圧及び不陸整正を繰り返して所定の高さ及び厚さに仕上げる。 表層安定剤は所定量を均一に散布し、適度の散水を行いながら転圧する。</p>

千葉市公園工事標準図	
図面名	公園舗装
番号	6
縮尺	A3 S=1:10

千葉市都市局公園緑地部

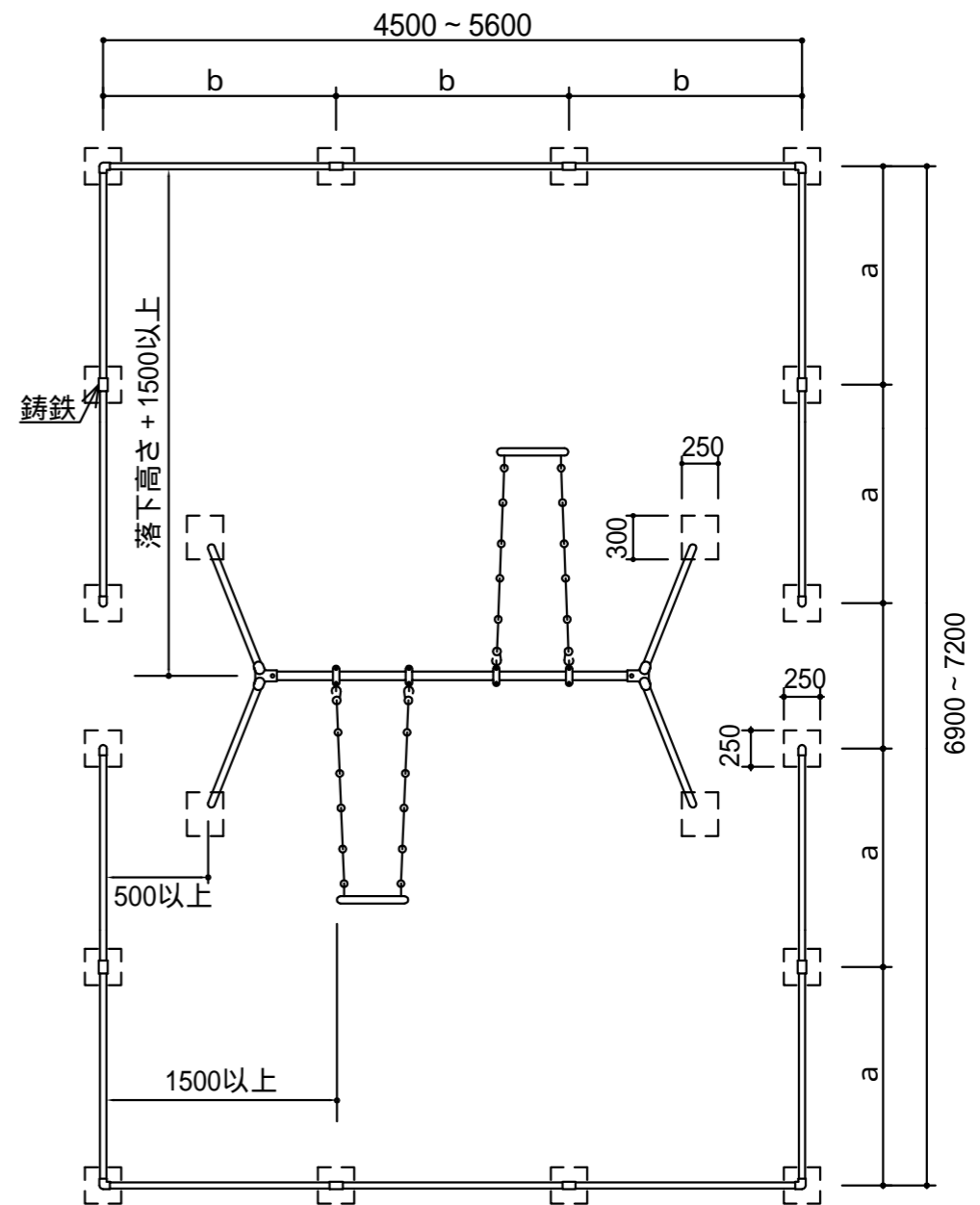
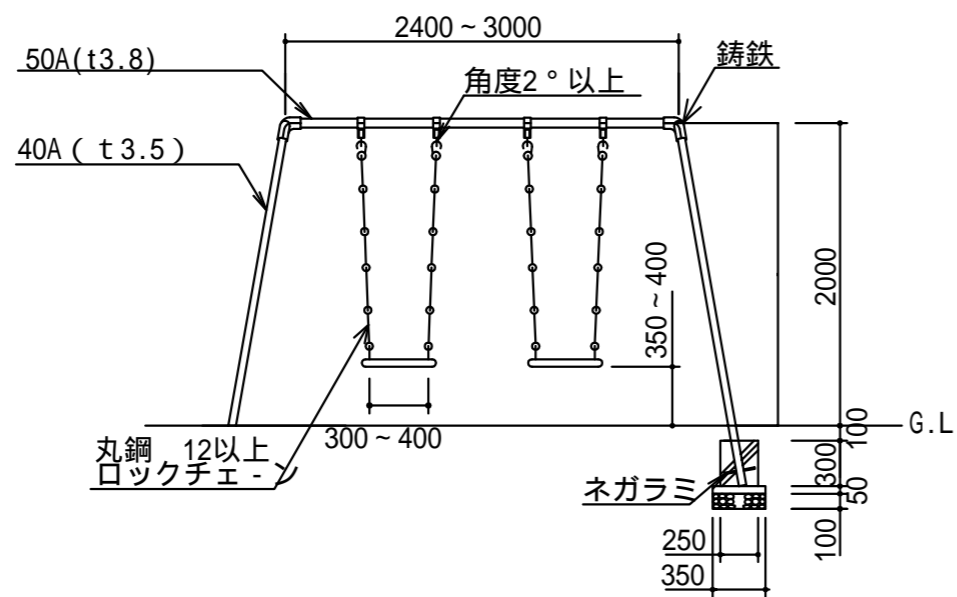
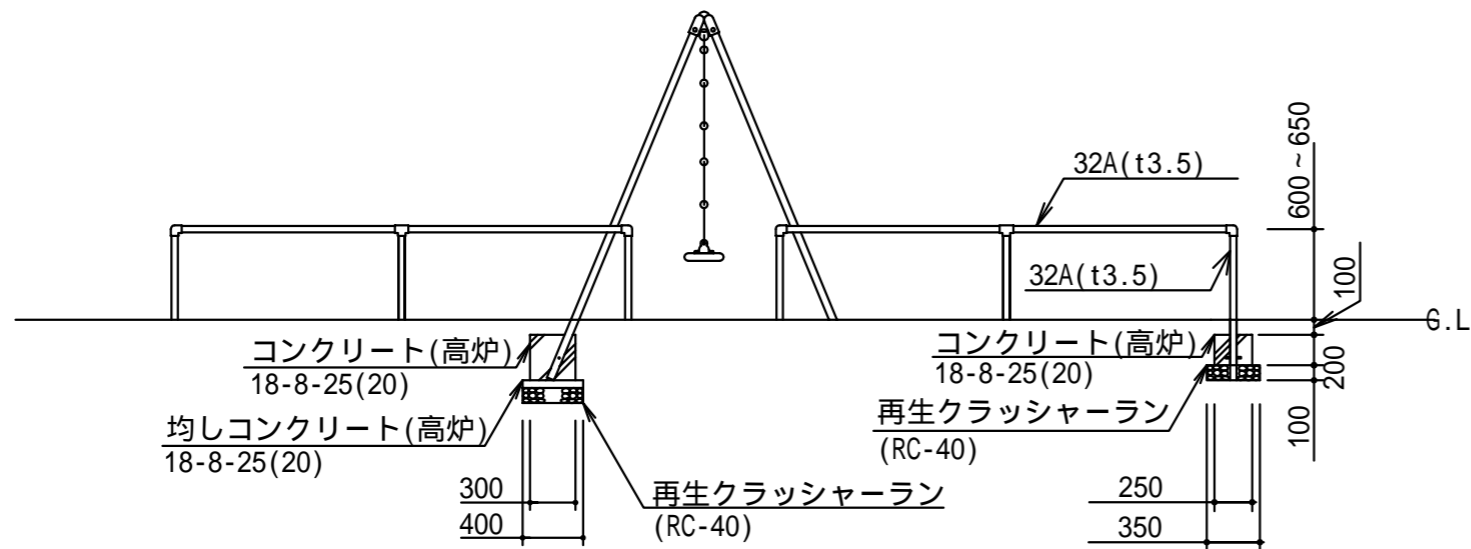


安全柵の支柱間隔は、a b 各々等間隔とする。

着座部は平板型とし、表面はソフトな素材で覆われているものとする。
 吊り金具は鋳鉄製または鋼板 (t 5 以上) プレス成型品のボルト連結とし、現場溶接による取付けは不可とする。
 安全柵は安全領域内に設置しないこと。
 支柱・梁は鋼材とし、溶融亜鉛メッキ処理または電気亜鉛メッキ処理とする。
 塗装はアクリル焼付塗装、アクリル樹脂焼付塗装、ウレタン樹脂塗装、粉体塗装のいずれか (指定色) とし、塗装膜厚は 4 0 μ m 以上とする。
 (社) 日本公園施設業協会の賠償責任保険に加入し、「遊具の安全に関する規準 J P F A - S P - S 」に準拠した遊具とする。
 なお、対象年齢及び遊び方の注意点が表示されたシールを貼り付けること。

千葉市公園工事標準図	
図面名	大型 2 連ブランコ (柵共)
番号	7
縮尺	A3 S=1:50

千葉市都市局公園緑地部

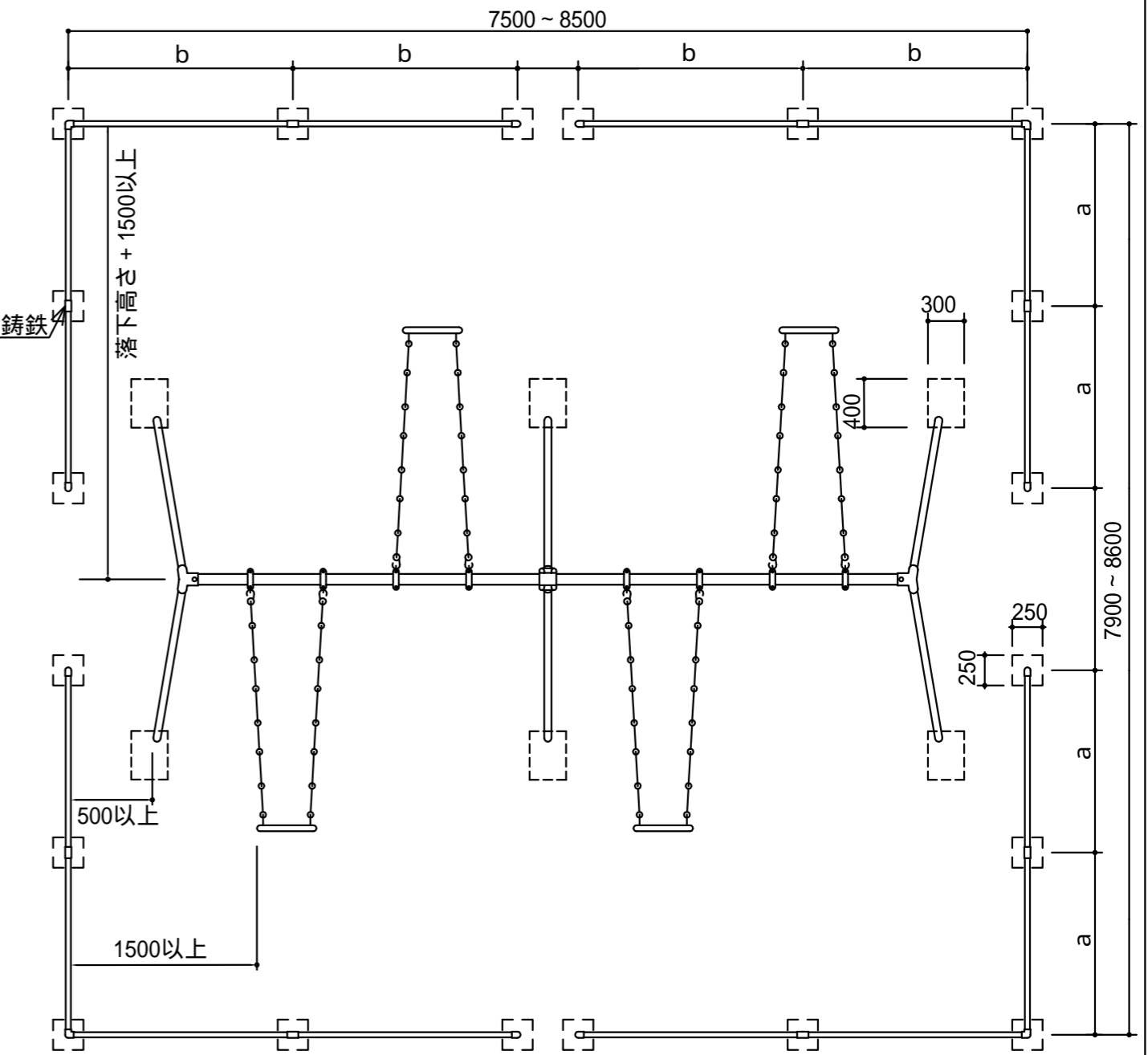
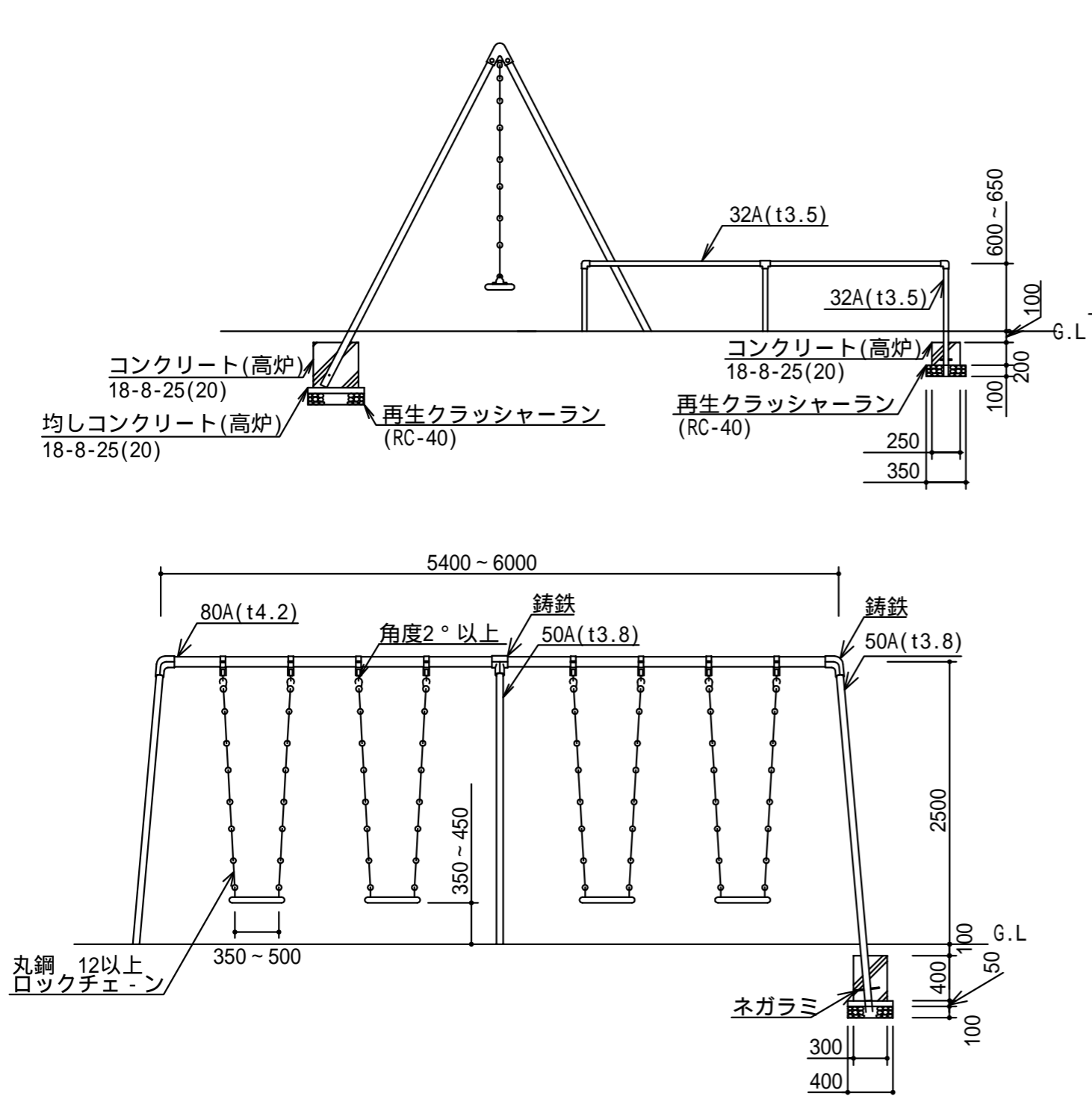


安全柵の支柱間隔は、a b 各々等間隔とする。

着座部は平板型とし、表面はソフトな素材で覆われているものとする。
 吊り金具は鋳鉄製または鋼板 (t 5 以上) プレス成型品のボルト連結とし、現場溶接による取付けは不可とする。
 安全柵は安全領域内に設置しないこと。
 支柱・梁は鋼材とし、溶融亜鉛メッキ処理または電気亜鉛メッキ処理とする。
 塗装はアクリル焼付塗装、アクリル樹脂焼付塗装、ウレタン樹脂塗装、粉体塗装のいずれか (指定色) とし、塗装膜厚は 40 μm 以上とする。
 (社) 日本公園施設業協会の賠償責任保険に加入し、「遊具の安全に関する規準 J P F A - S P - S」に準拠した遊具とする。
 なお、対象年齢及び遊び方の注意点が表示されたシールを貼り付けること。

千葉市公園工事標準図	
図面名	小型 2 連ブランコ (柵共)
番号	8
縮尺	A3 S=1:50

千葉市都市局公園緑地部

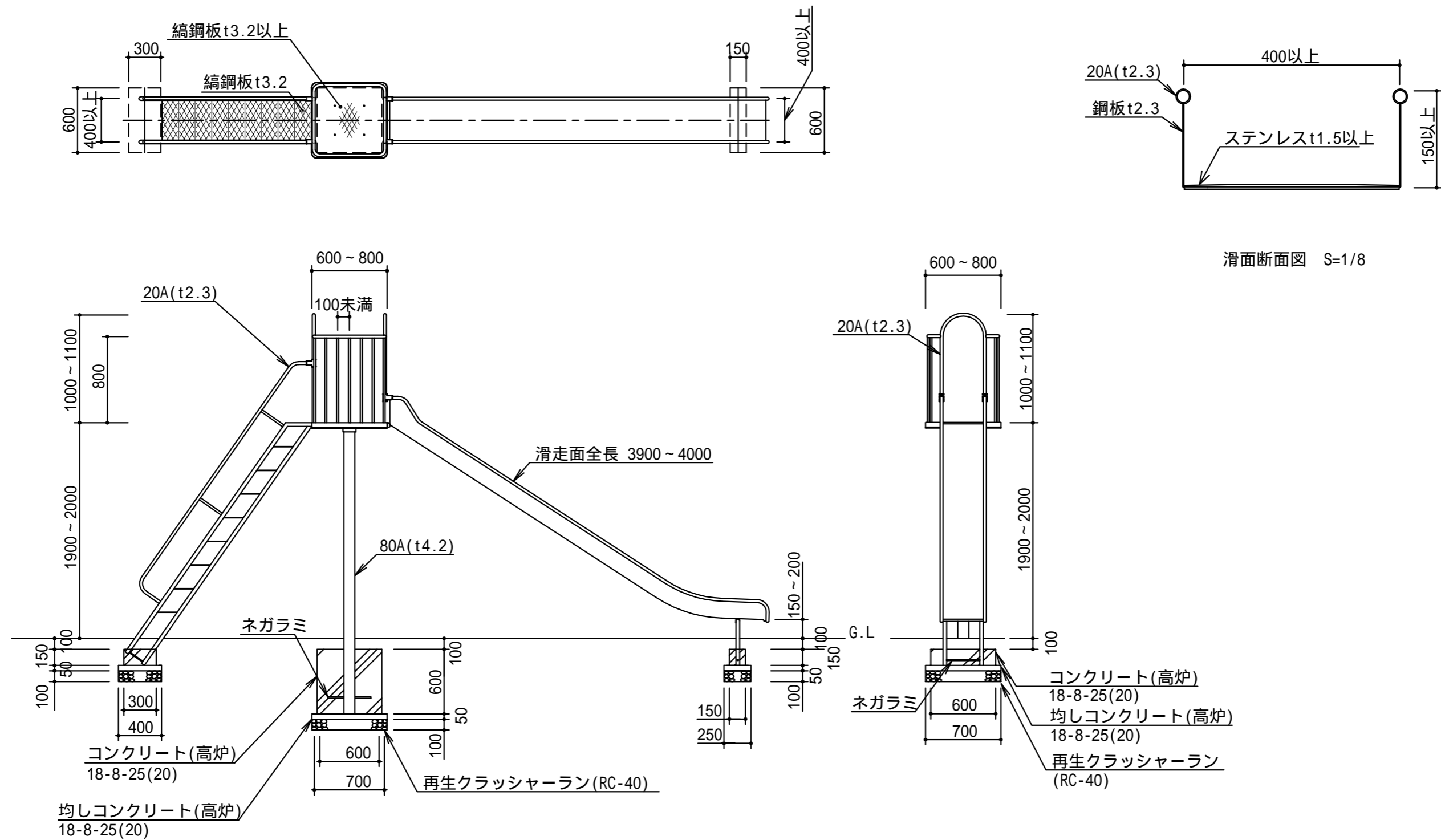


安全柵の支柱間隔は、a b 各々等間隔とする。

着座部は平板型とし、表面はソフトな素材で覆われているものとする。
 吊り金具は鋳鉄製または鋼板 (t 5 以上) プレス成型品のボルト連結とし、現場溶接による取付けは不可とする。
 安全柵は安全領域内に設置しないこと。
 支柱・梁は鋼材とし、溶融亜鉛メッキ処理または電気亜鉛メッキ処理とする。
 塗装はアクリル焼付塗装、アクリル樹脂焼付塗装、ウレタン樹脂塗装、粉体塗装のいずれか (指定色) とし、塗装膜厚は 4 0 μ m 以上とする。
 (社) 日本公園施設業協会の賠償責任保険に加入し、「遊具の安全に関する規準」P F A - S P - S に準拠した遊具とする。
 なお、対象年齢及び遊び方の注意点が表示されたシールを貼り付けること。

千葉市公園工事標準図	
図面名	大型 4 連ブランコ (柵共)
番号	9
縮尺	A3 S=1:50

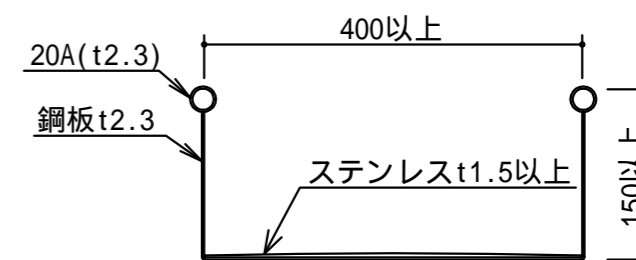
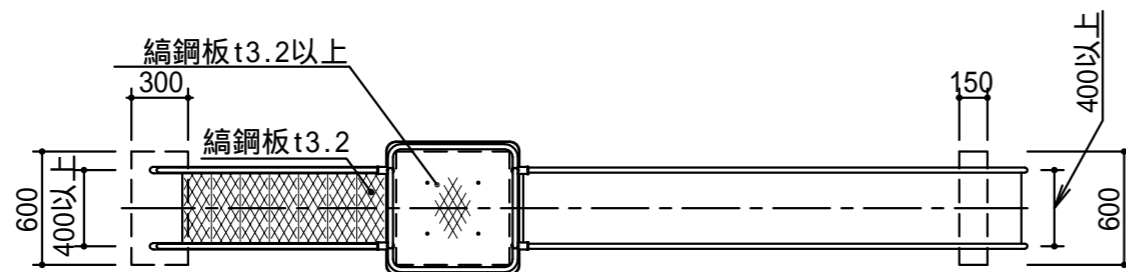
千葉市都市局公園緑地部



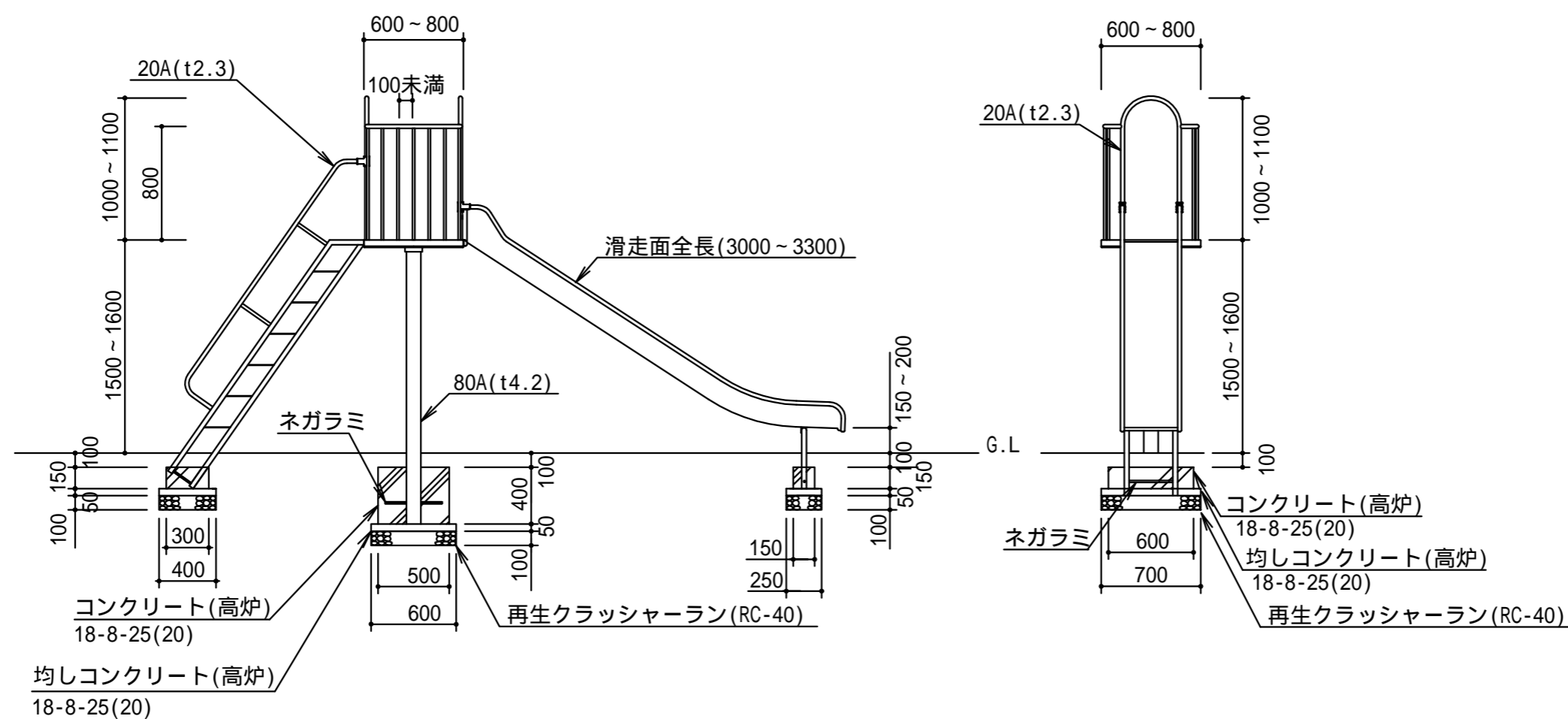
支柱等主要部材は鋼材とし、溶融亜鉛メッキ処理または電気亜鉛メッキ処理とする。
 塗装はアクリル焼付塗装、アクリル樹脂焼付塗装、ウレタン樹脂塗装、粉体塗装のいずれか（指定色）とし、塗装膜厚は40μm以上とする。
 （社）日本公園施設業協会の賠償責任保険に加入し、「遊具の安全に関する規準 J P F A - S P - S 」に準拠した遊具とする。
 なお、対象年齢及び遊び方の注意点が表示されたシールを貼り付けること。
 遊具個別注意シール（ J P F A - K - S D 4 ）を貼り付けること。

千葉市公園工事標準図	
図面名	大型すべり台
番号	10
縮尺	図示

千葉市都市局公園緑地部



滑面断面図 S=1/8

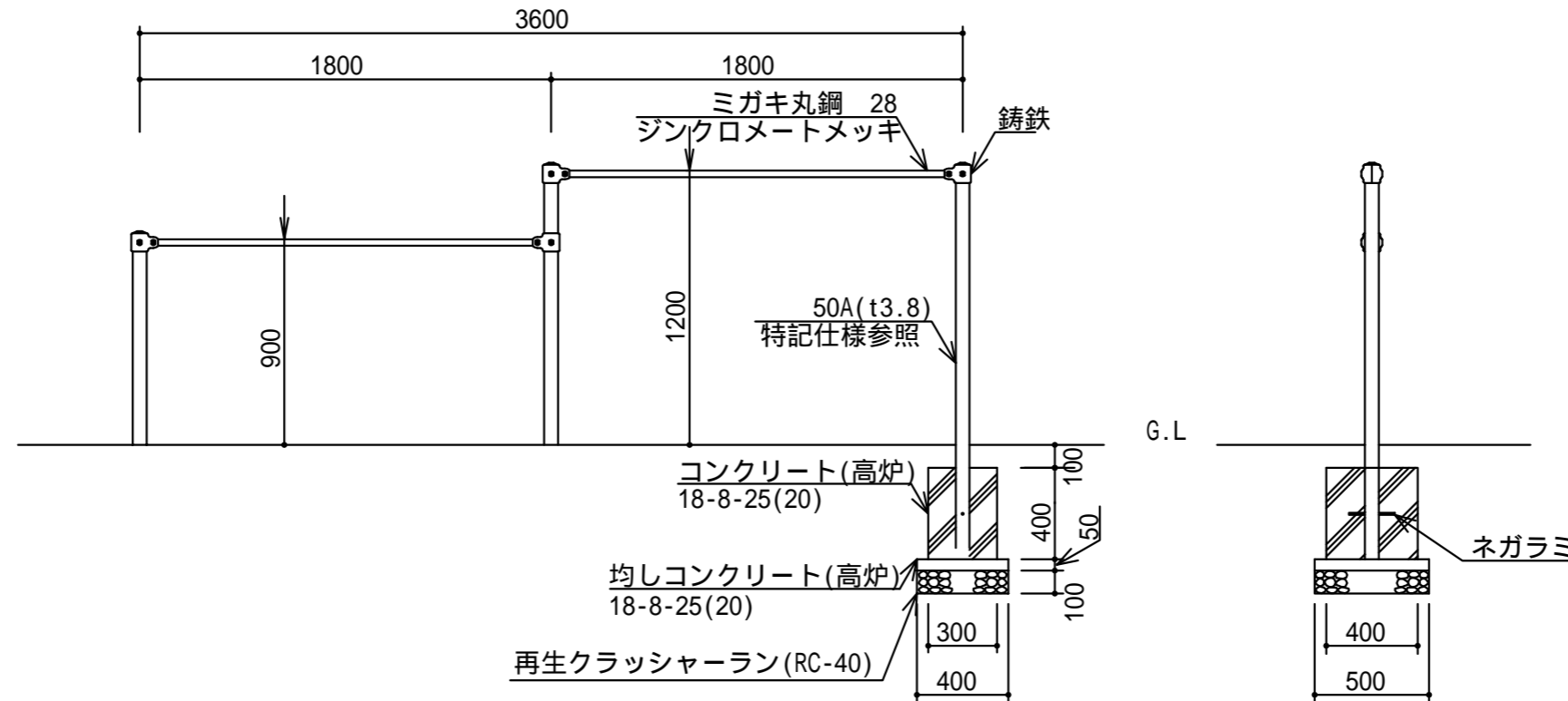
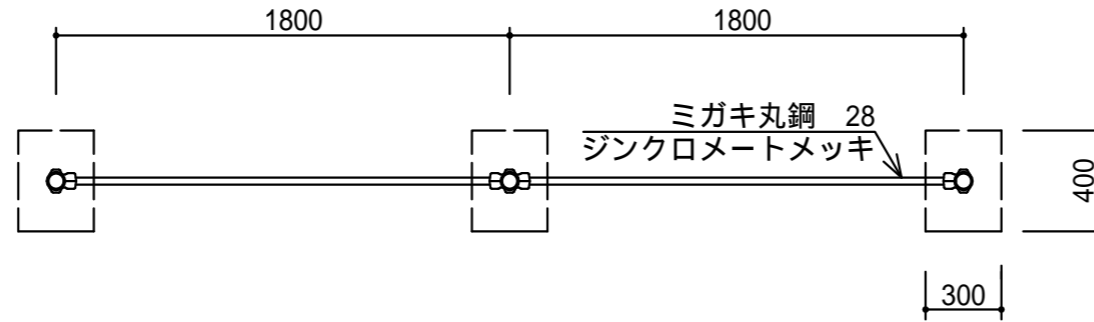


支柱等主要部材は鋼材とし、溶融亜鉛メッキ処理または電気亜鉛メッキ処理とする。
 塗装はアクリル焼付塗装、アクリル樹脂焼付塗装、ウレタン樹脂塗装、粉体塗装のいずれか（指定色）とし、塗装膜厚は40 μ m以上とする。
 （社）日本公園施設業協会の賠償責任保険に加入し、「遊具の安全に関する規準 J P F A - S P - S」に準拠した遊具とする。
 なお、対象年齢及び遊び方の注意点が表示されたシールを貼り付けること。
 遊具個別注意シール（ J P F A - K - S D 4 ）を貼り付けること。

千葉市公園工事標準図

図面名	小型すべり台
番号	11
縮尺	図示

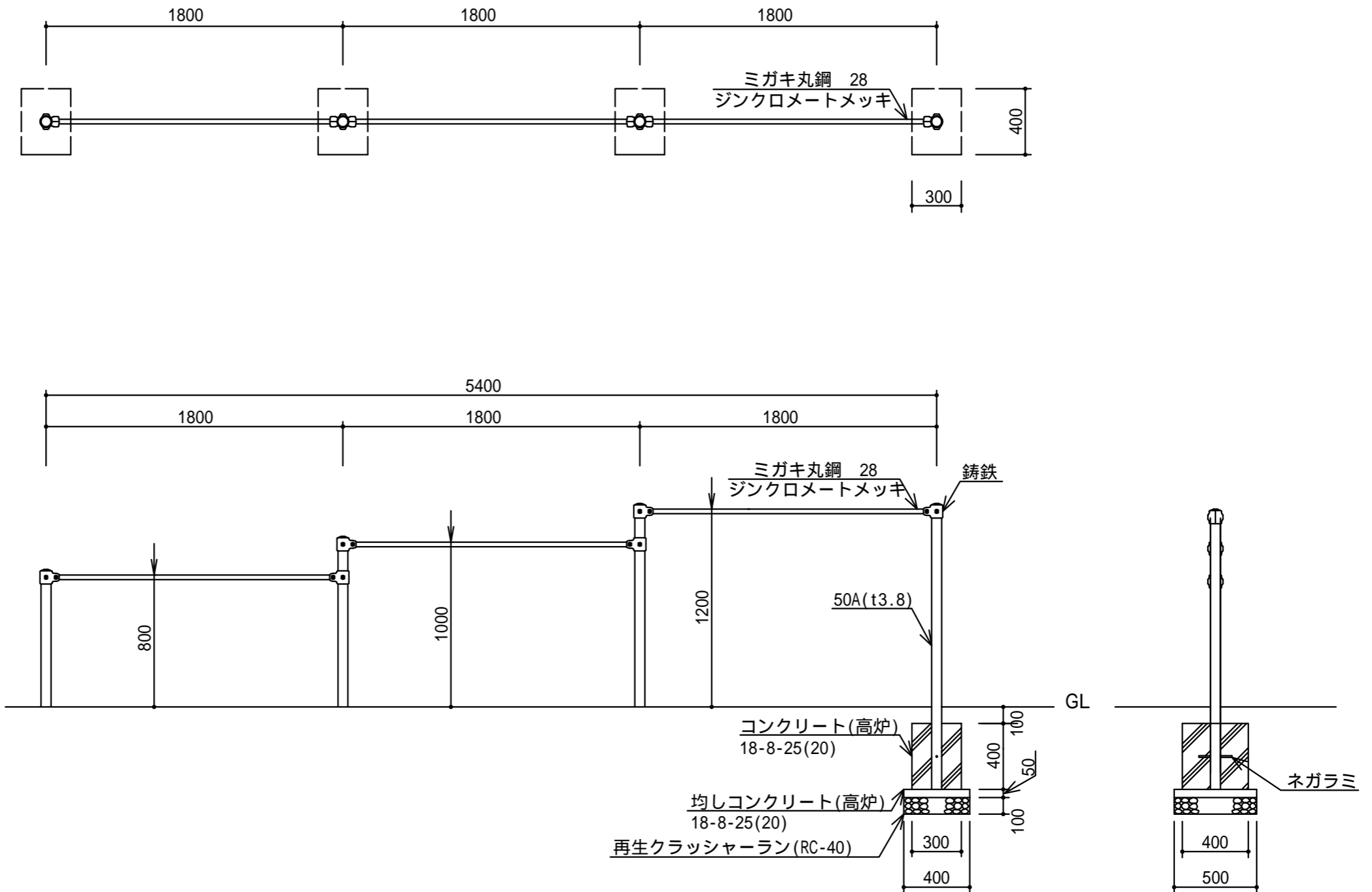
千葉市都市局公園緑地部



支柱は鋼材とし、溶融亜鉛メッキ処理または電気亜鉛メッキ処理とする。
 塗装はアクリル焼付塗装、アクリル樹脂焼付塗装、ウレタン樹脂塗装、粉体塗装のいずれか（指定色）とし、塗装膜厚は40 μ m以上とする。
 （社）日本公園施設業協会の賠償責任保険に加入し、「遊具の安全に関する規準 J P F A - S P - S」に準拠した遊具とする。
 なお、対象年齢及び遊び方の注意点が表示されたシールを貼り付けること。

千葉市公園工事標準図	
図面名	2連低鉄棒
番号	12
縮尺	A3 S=1:30

千葉市都市局公園緑地部

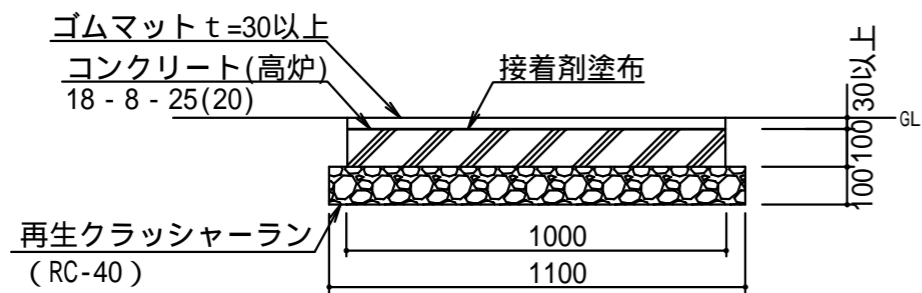
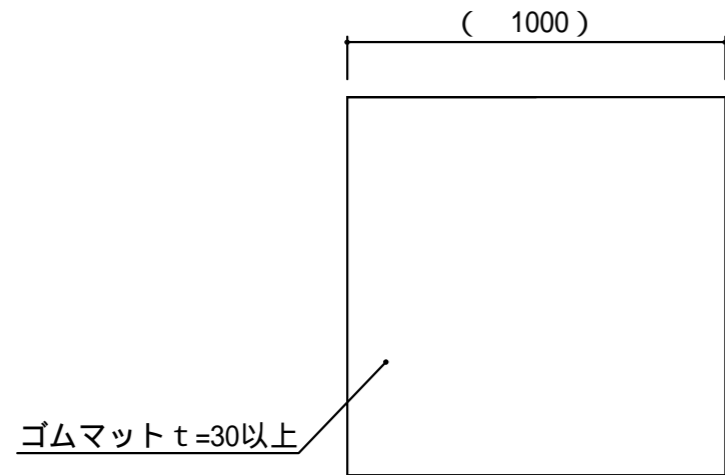


支柱は鋼材とし、溶融亜鉛メッキ処理または電気亜鉛メッキ処理とする。
 塗装はアクリル焼付塗装、アクリル樹脂焼付塗装、ウレタン樹脂塗装、粉体塗装のいずれか（指定色）とし、塗装膜厚は40 μ m以上とする。
 （社）日本公園施設業協会の賠償責任保険に加入し、「遊具の安全に関する規準」J P F A - S P - S」に準拠した遊具とする。
 なお、対象年齢及び遊び方の注意点が表示されたシールを貼り付けること。

千葉県公園工事標準図	
図面名	3連低鉄棒
番号	13
縮尺	A3 S=1:30

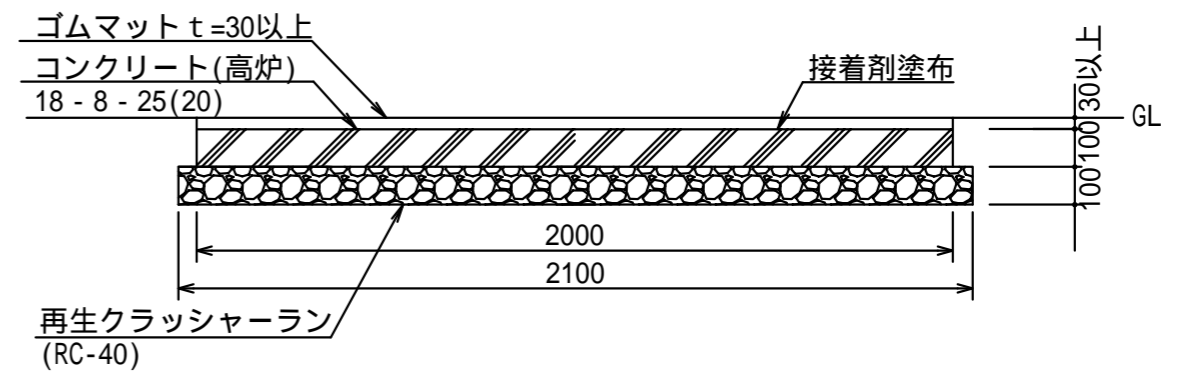
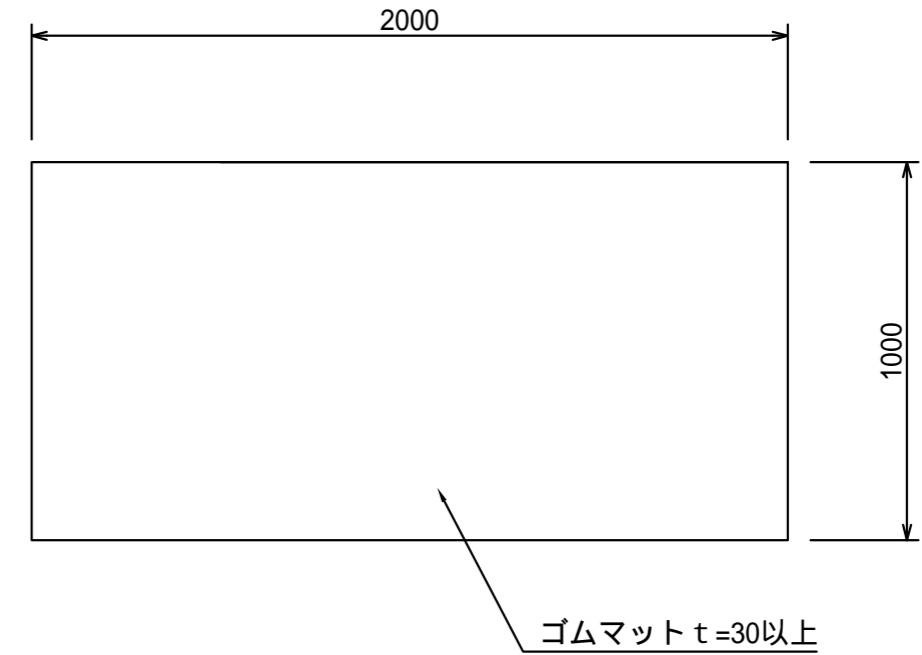
千葉県都市局公園緑地部

ゴムマット(1000×1000)



(社)日本公園施設業協会の生産賠償責任保証付きとする。

ゴムマット(2000×1000)

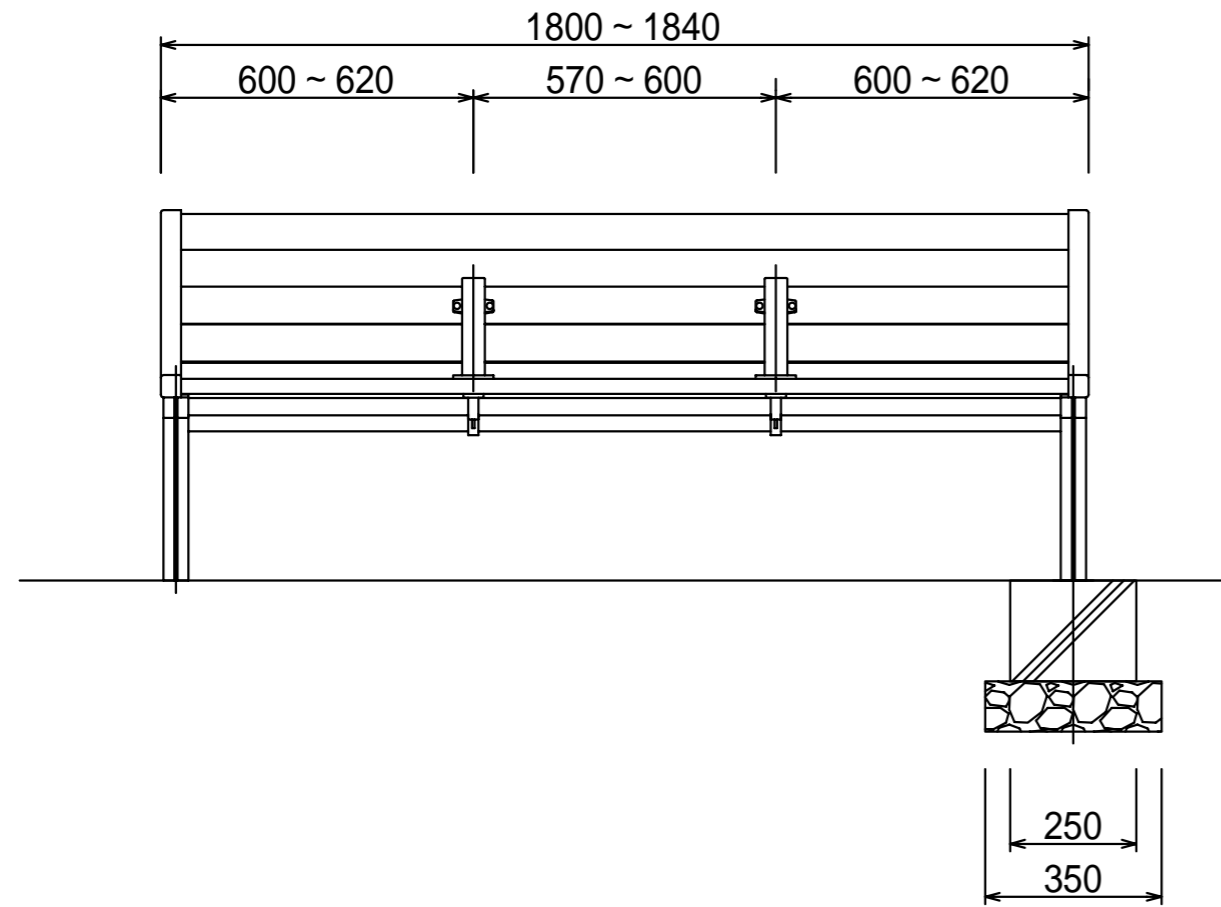


(社)日本公園施設業協会の生産賠償責任保証付きとする。

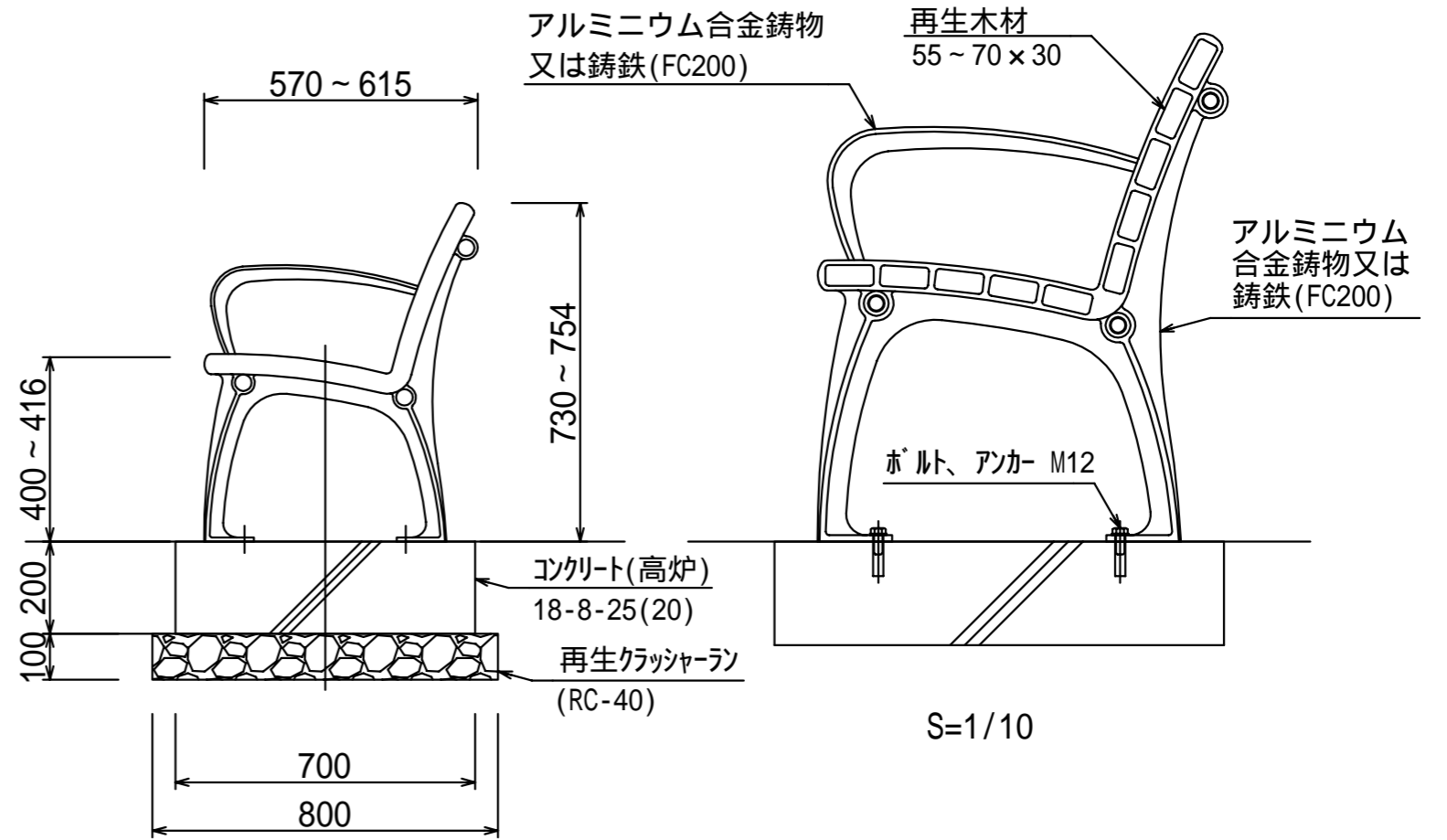
千葉市公園工事標準図

図面名	ゴムマット
番号	14
縮尺	A3 S=1:20

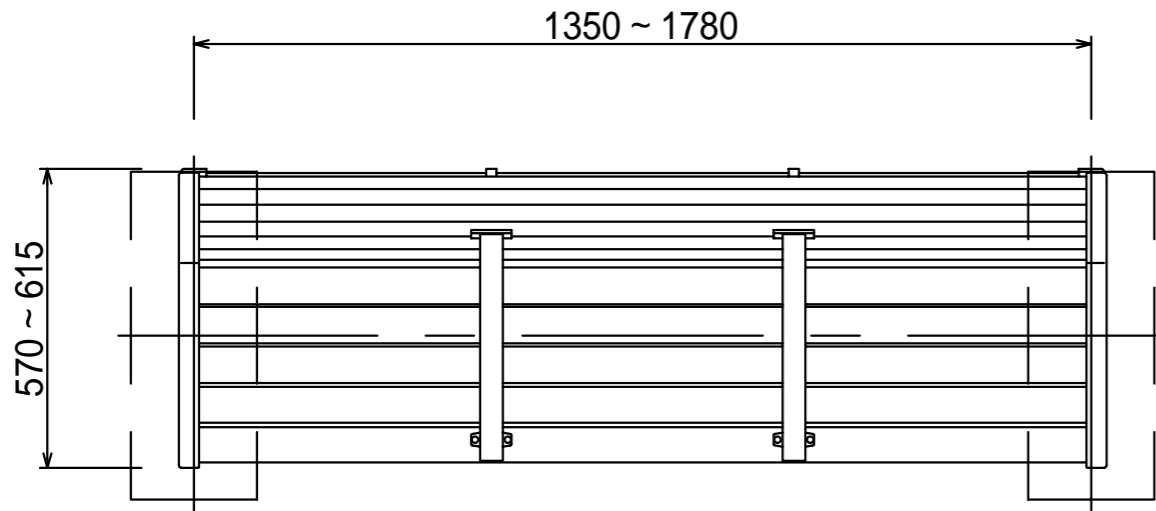
千葉市都市局公園緑地部



S=1/15



S=1/10

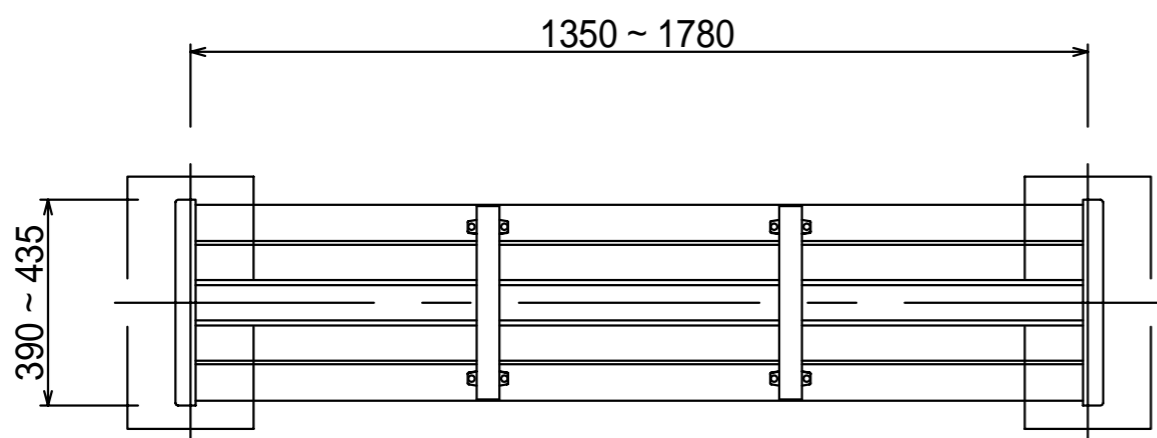
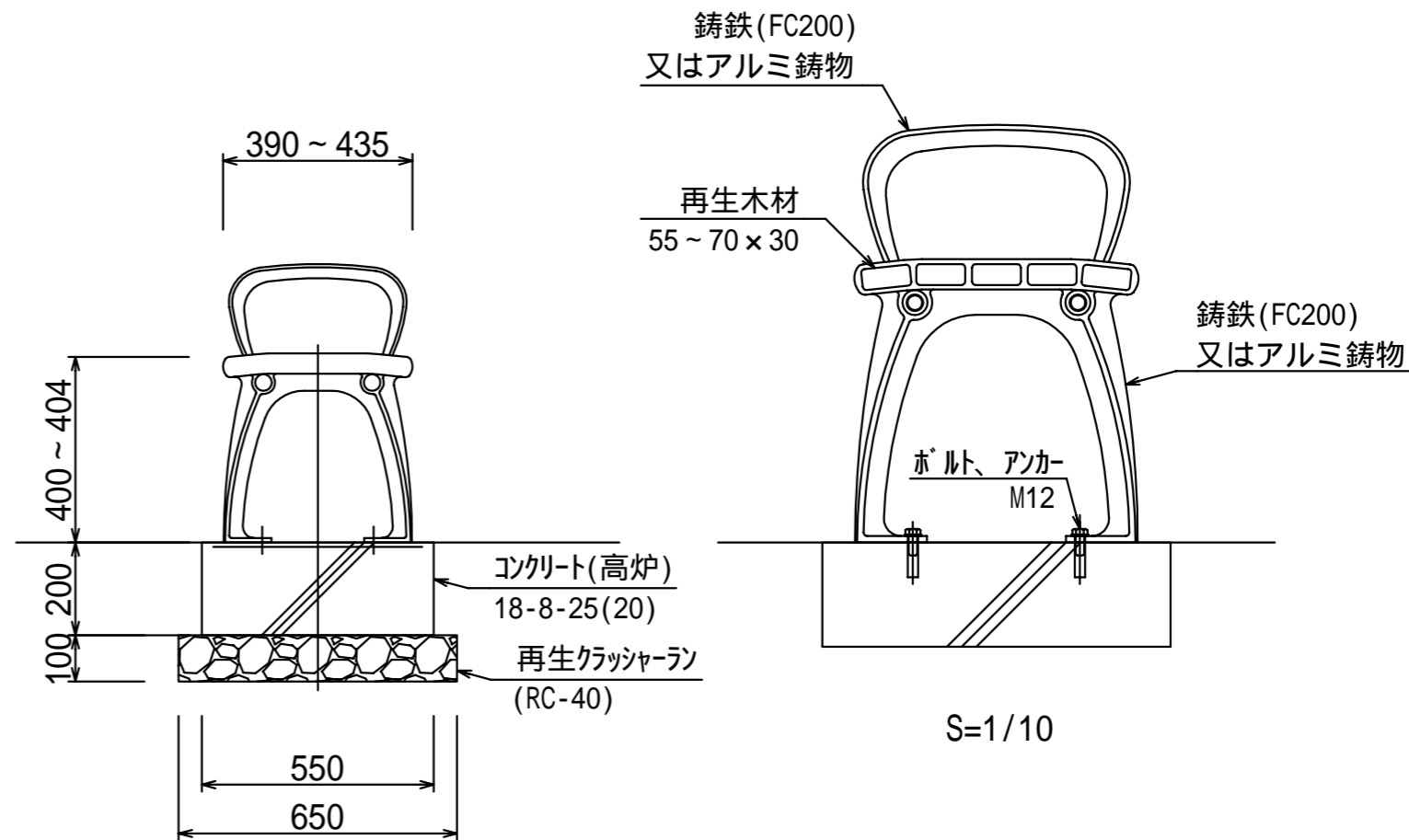
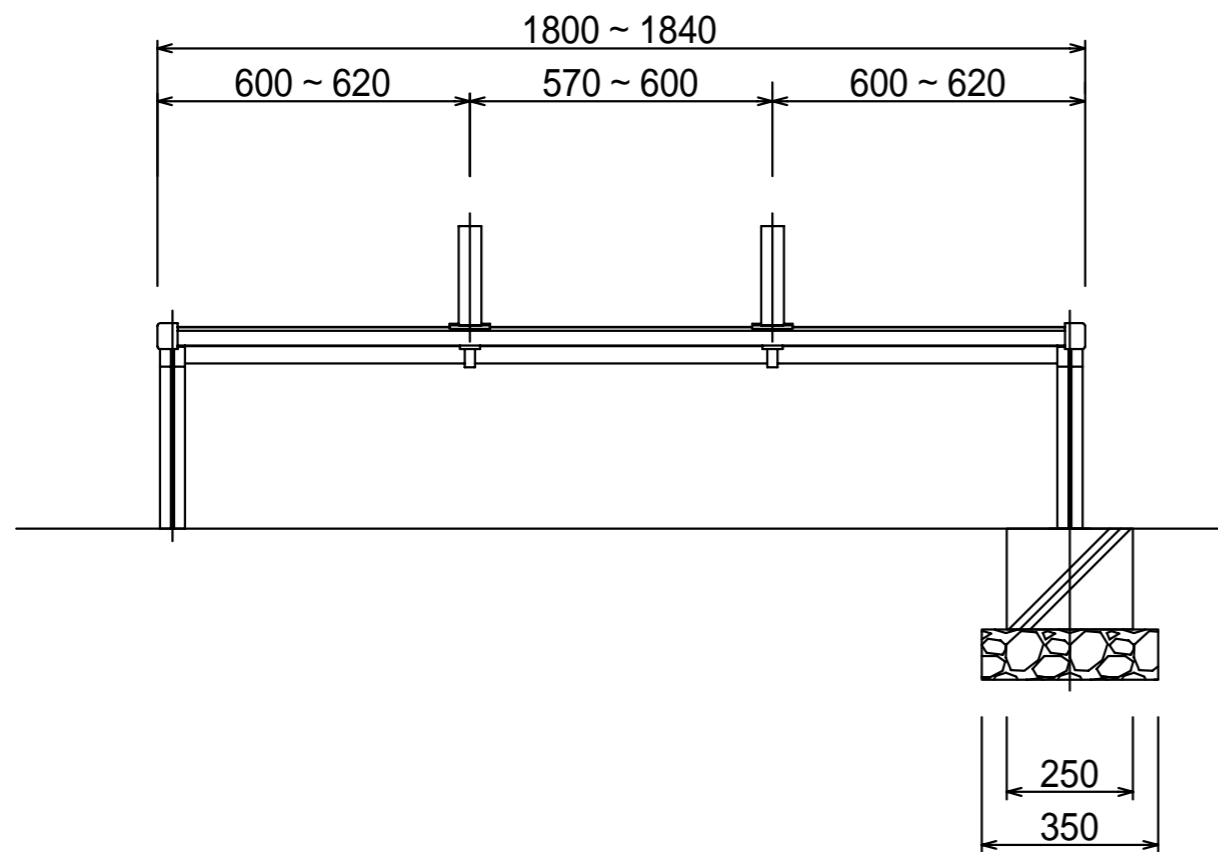


木材は、再生木材とする。
 脚部は、鋳鉄(FC200)またはアルミ鋳物で、合成樹脂焼付塗装仕上げとする。
 基礎と脚の固定はアンカーボルト式とする。
 ボルト、ナット、ネジ類は、すべてステンレス製とする。
 コンクリート基礎ブロックを使用する場合は、安全性が確認できる資料を添付すること。
 (一社)日本公園施設業協会によるSP、またはSPL表示認定企業の製造品とする。
 製品に起因して生じた損害を賠償する保険(日本公園施設賠償責任保険制度)の加入品とする。

千葉市公園工事標準図

図面名	背付ベンチ
番号	16
縮尺	図示

千葉市都市局公園緑地部



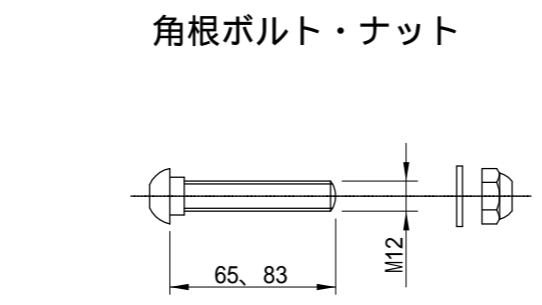
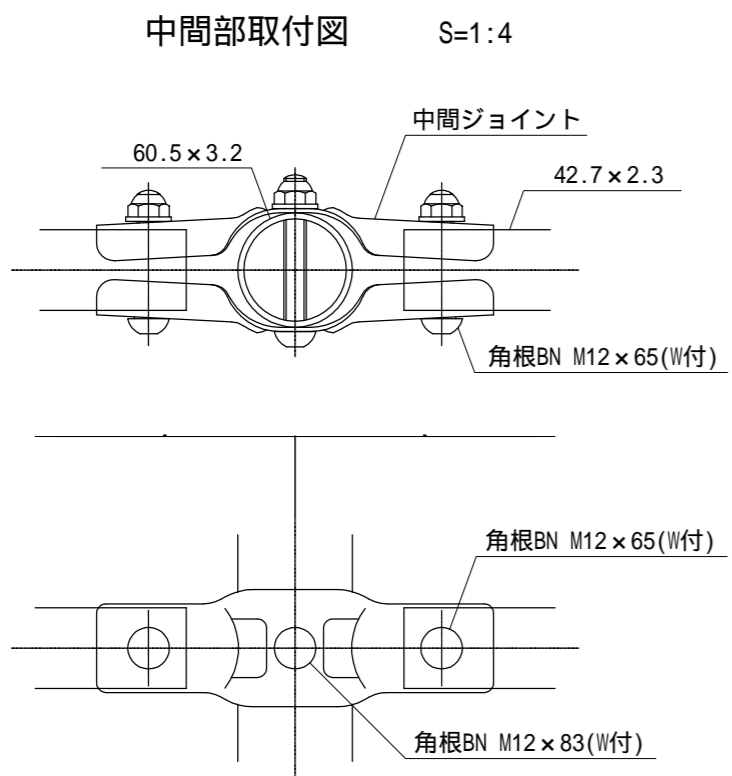
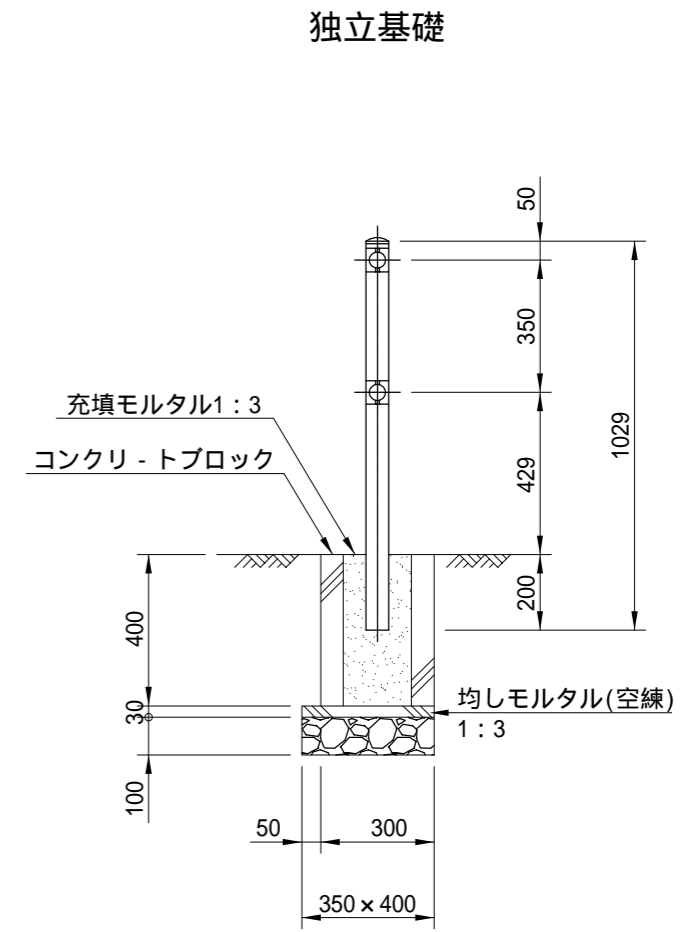
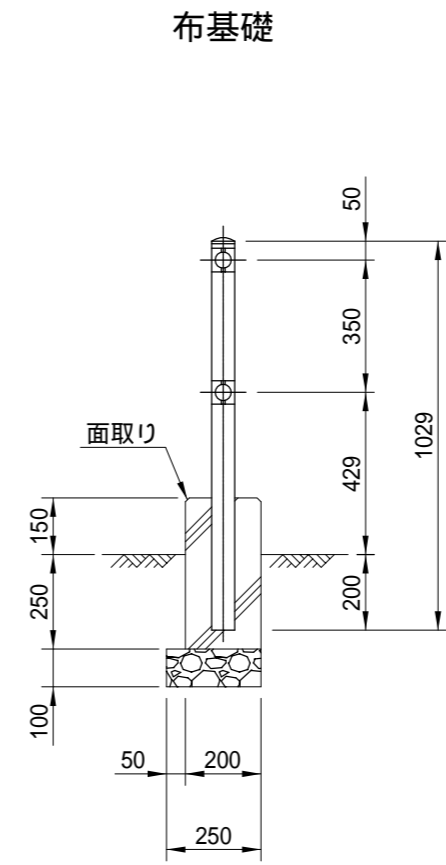
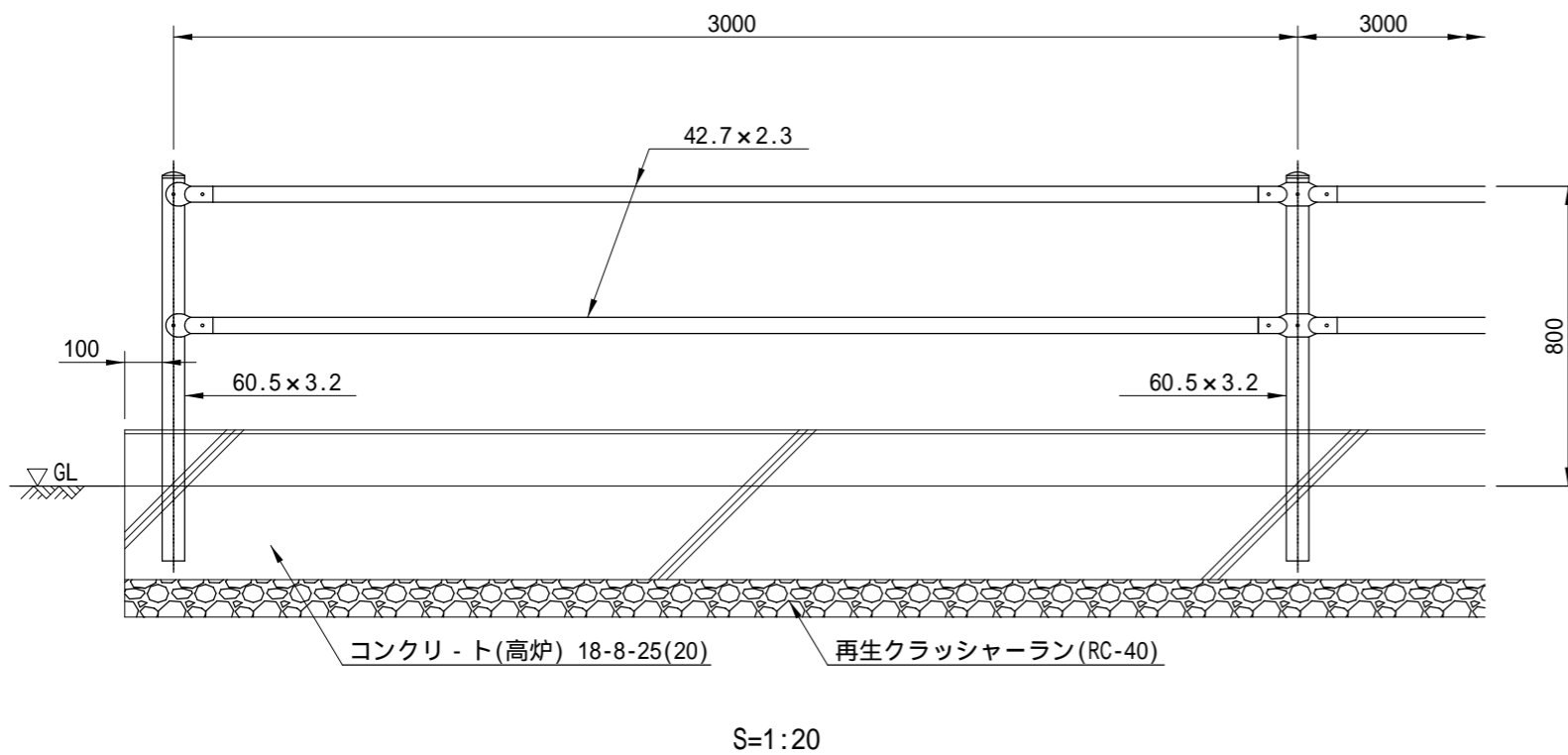
S=1/15

木材は、再生木材とする。
 脚部は、鋳鉄(FC200)またはアルミ鋳物で、合成樹脂焼付塗装仕上げとする。
 基礎と脚の固定は、アンカーボルト式とする。
 ボルト、ナット、ネジ類はすべてステンレス製とする。
 基礎ブロックを使用する場合は、安全性を確認できる資料を添付すること。
 (一社)日本公園施設業協会によるSP、またはSPL表示認定企業の製品とする。
 製品に起因して生じた損害を賠償する保険(日本公園施設賠償責任保険制度)の加入品とする。

S=1/10

千葉市公園工事標準図	
図面名	背無ベンチ
番号	17
縮尺	図示

千葉市都市局公園緑地部

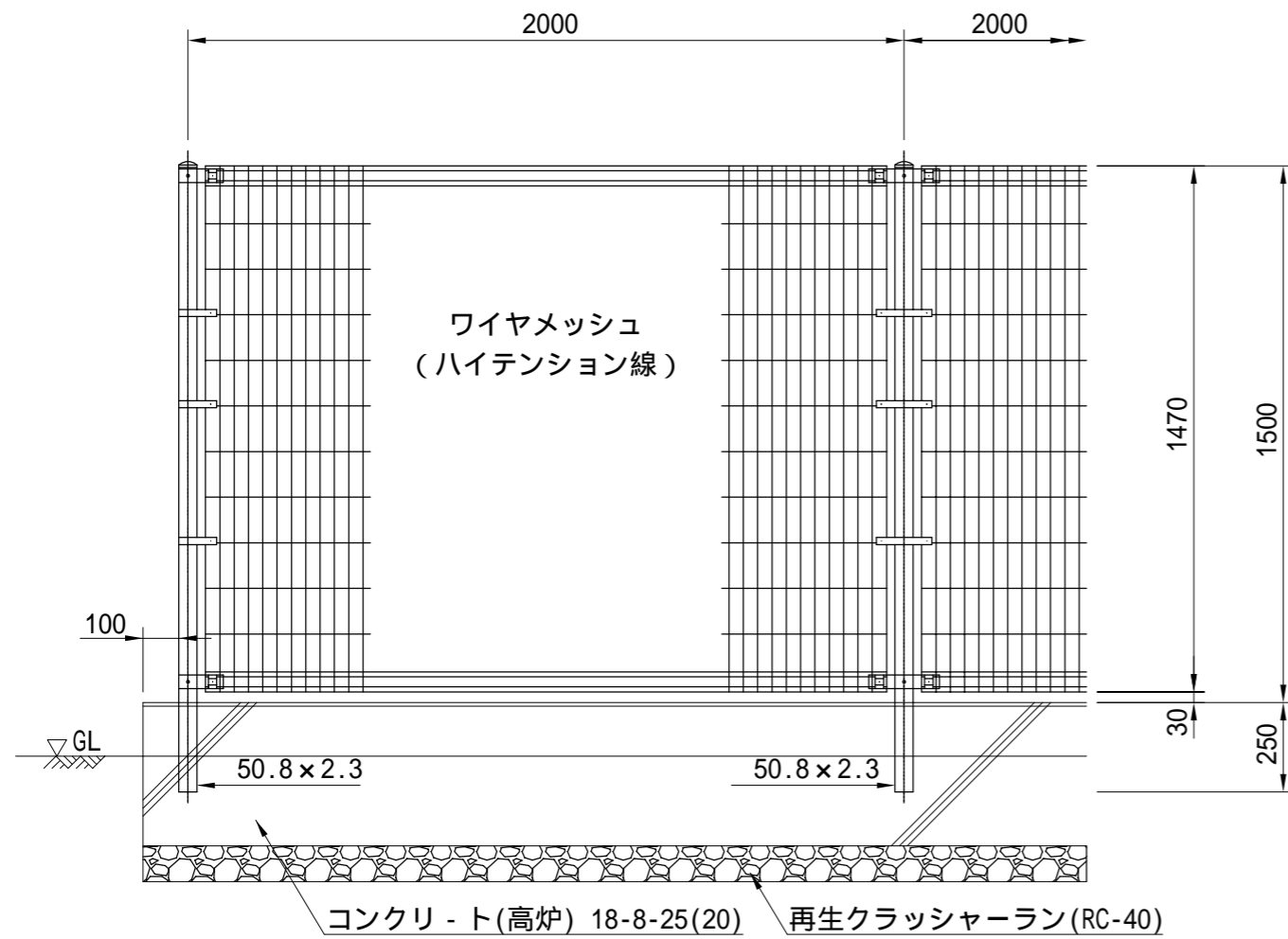


部 材 名	材 質
支 柱	STK400
ビームパイプ	STK400
端ジョイント	SGMH400
中間ジョイント	SGMH400
角根ボルト・ナット	ボルト4.8・ナット5

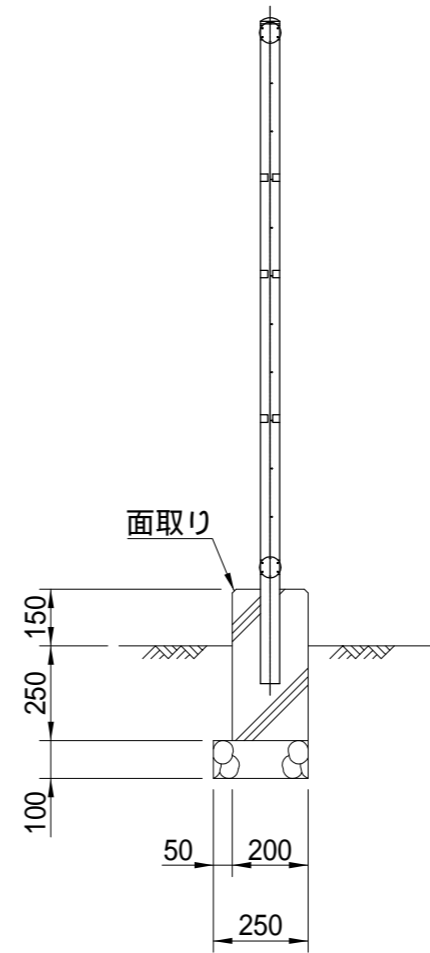
外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル樹脂静電粉体塗装とする。
 但し、ボルト・ナット類は溶融亜鉛めっきのみとする。
 外装の色は、ダークブラウン色とする。
 布基礎の場合、伸縮目地(厚10mm)は、基本的に1箇所/10m以内及び構造の異なる箇所に設置すること。

千葉市公園工事標準図	
図面名	公園用外柵 A
番号	18
縮尺	A3 図示

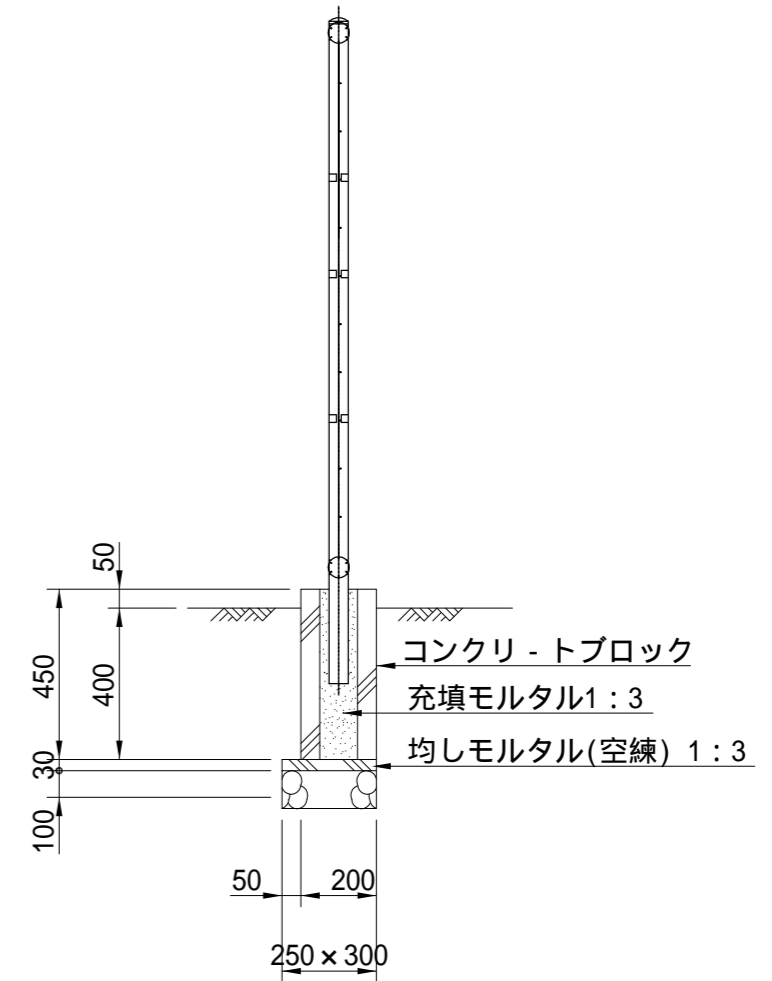
千葉市都市局公園緑地部



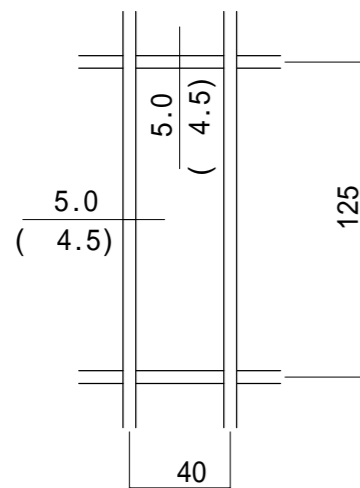
布基礎



独立基礎



ワイヤメッシュ図
()内は芯径を示す。



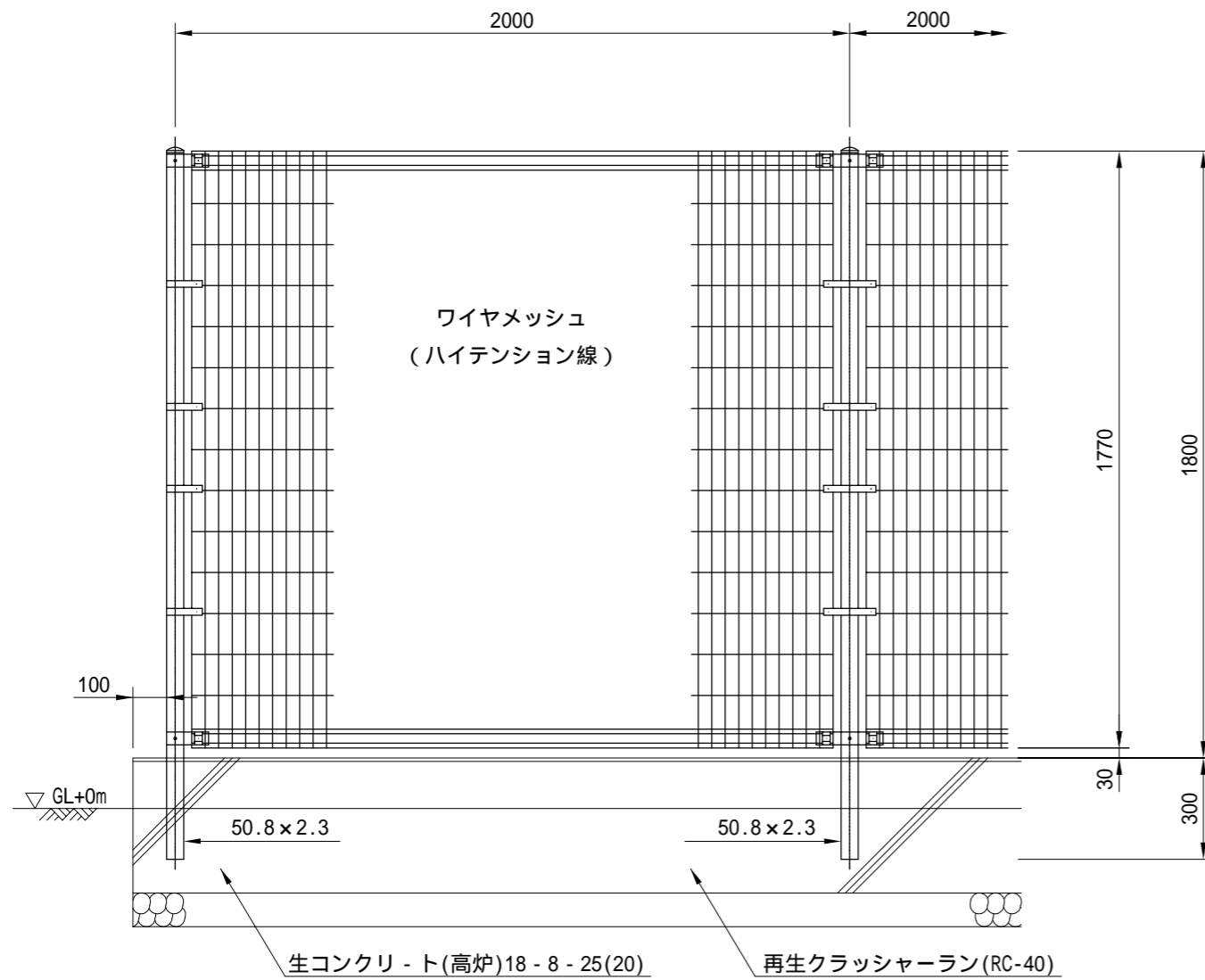
ジョイント取付方向は現地状況に応じて打合せに依り決定する。
尚取付ボルト、ナットのボルト側は必ずジョイント側とする。
また、パネルの縦線側は公園側とする。
外装の色は、ダークブラウン色とする。
布基礎の場合、伸縮目地(厚10mm)は、基本的に1箇所/10m以内及び構造の異なる箇所に設置すること。

部材名	材質	外装
主柱	STK400	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
パネル	ハイテンション線	亜鉛めっきの上PVC樹脂静電粉体塗装
ジョイント	SGMH400	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
押え金具	SGMHC	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
バンド	SPHC	溶融亜鉛めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
ボルト・ナット	ボルト4.8・ナット5	溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、ワッシャは溶融亜鉛めっきのみ

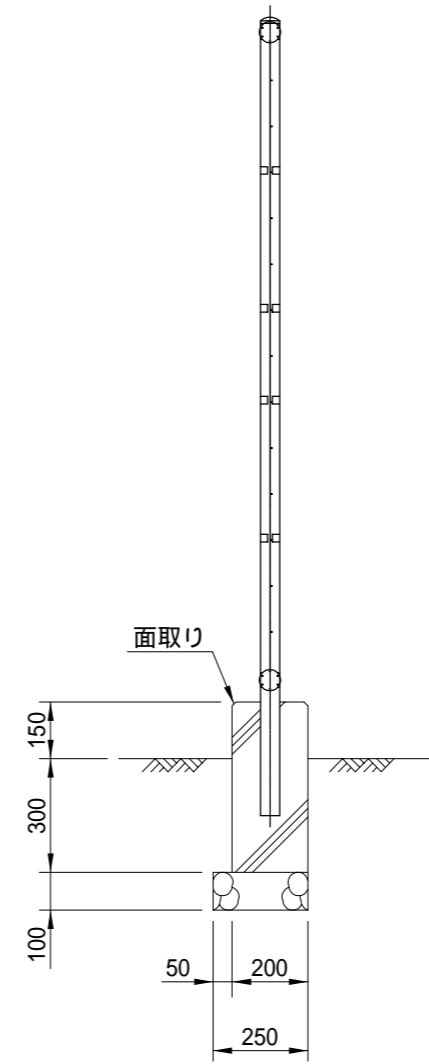
千葉市公園工事標準図

図面名	公園用外柵 B
番号	19
縮尺	A3 S=1:20

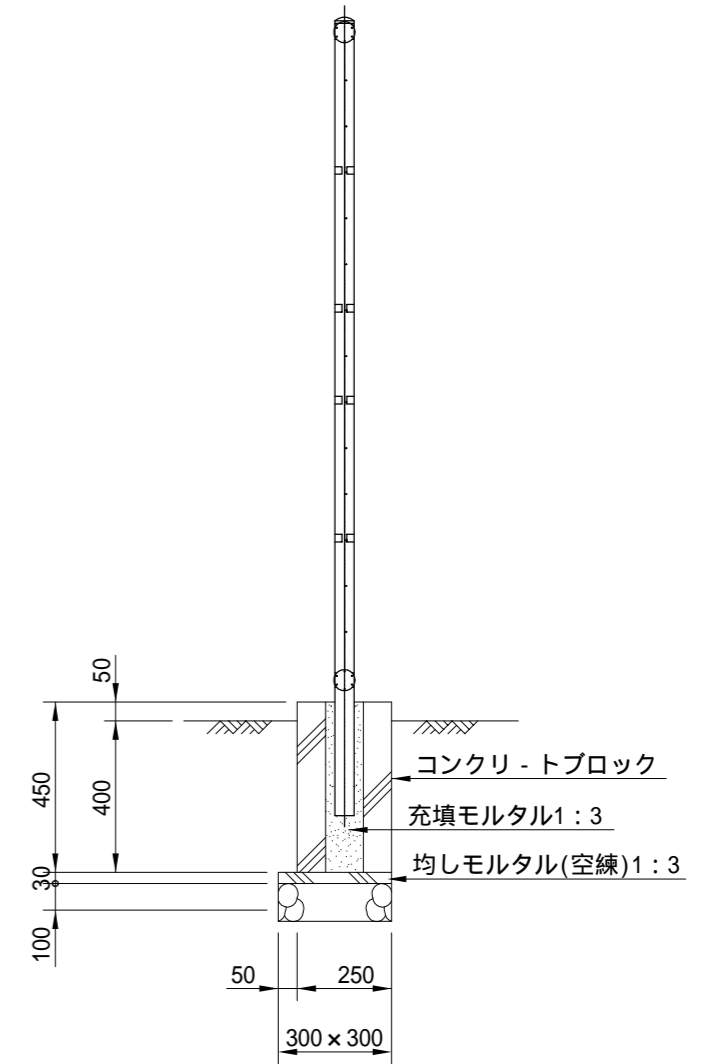
千葉市都市局公園緑地部



布基礎

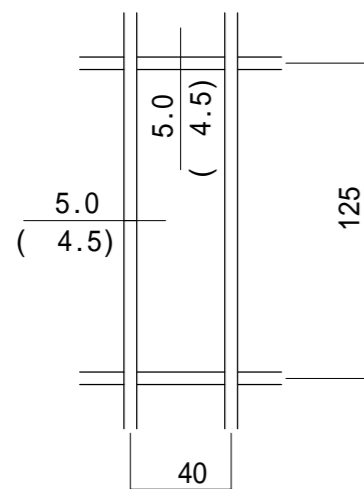


独立基礎



ワイヤメッシュ図

()内は芯径を示す。



ジョイント取付方向は現地状況に応じて打合せに依り決定する。
 尚取付ボルト、ナットのボルト側は必ずジョイント側とする。
 また、パネルの縦線側は公園側とする。
 外装の色は、ダークブラウン色とする。
 布基礎の場合、伸縮目地(厚10mm)は、基本的に1箇所/10m以内及び構造の異なる箇所に設置すること。

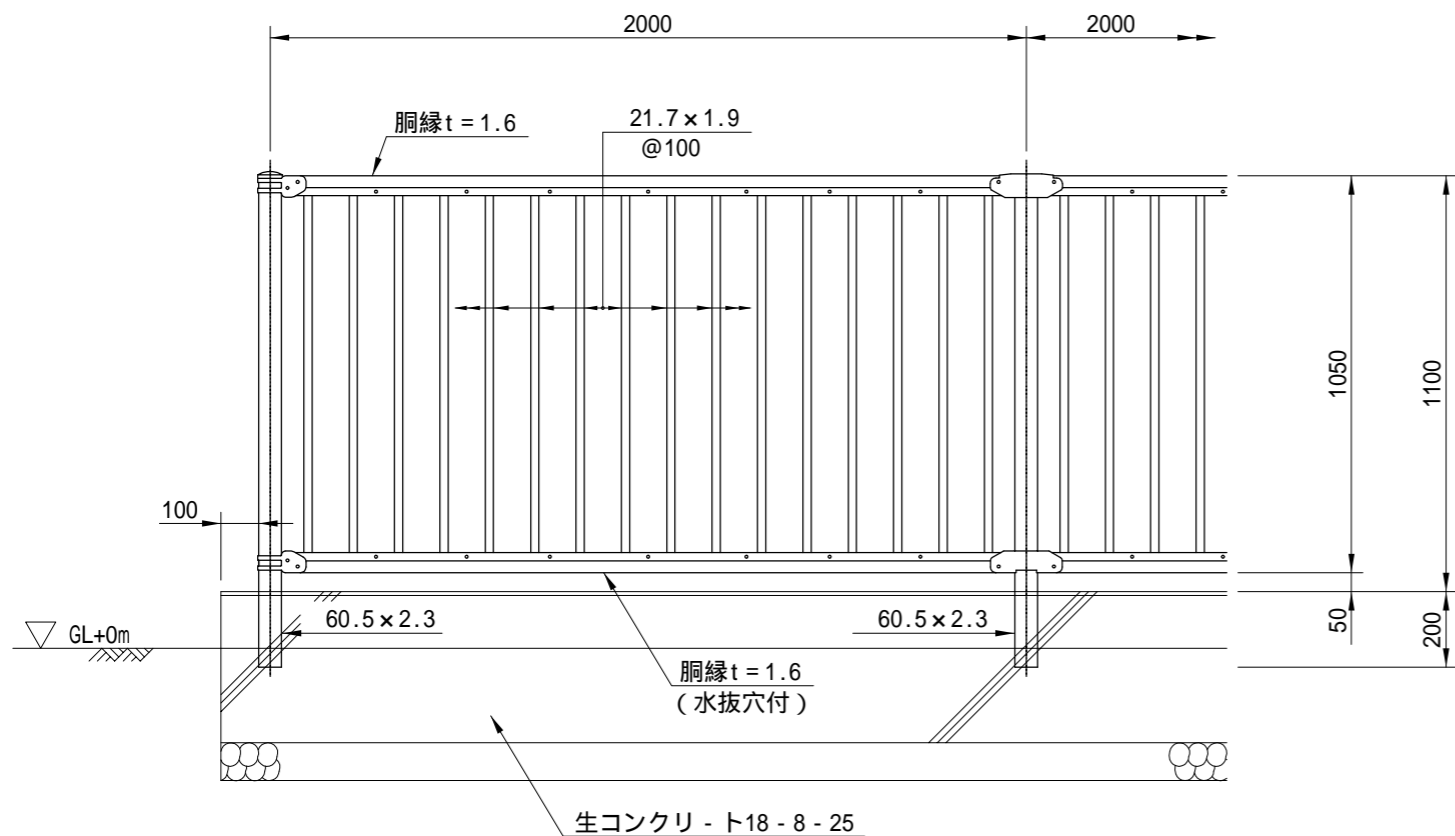
部材名	材質	外装
主柱	STK400	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
パネル	ハイテンション線	亜鉛めっきの上PVC樹脂静電粉体塗装
ジョイント	SGMH400	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
押え金具	SGMHC	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
バンド	SPHC	熔融亜鉛めっきの上アクリル系樹脂静電粉体塗装
ボルト・ナット	ボルト4.8・ナット5	熔融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、ワッシャは熔融亜鉛めっきのみ

千葉市公園工事標準図

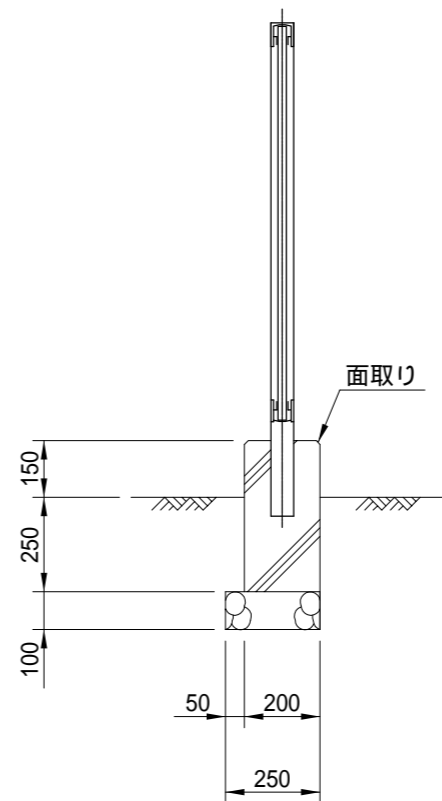
図面名	公園用外柵C
番号	20
縮尺	A3 S=1:20

千葉市都市局公園緑地部

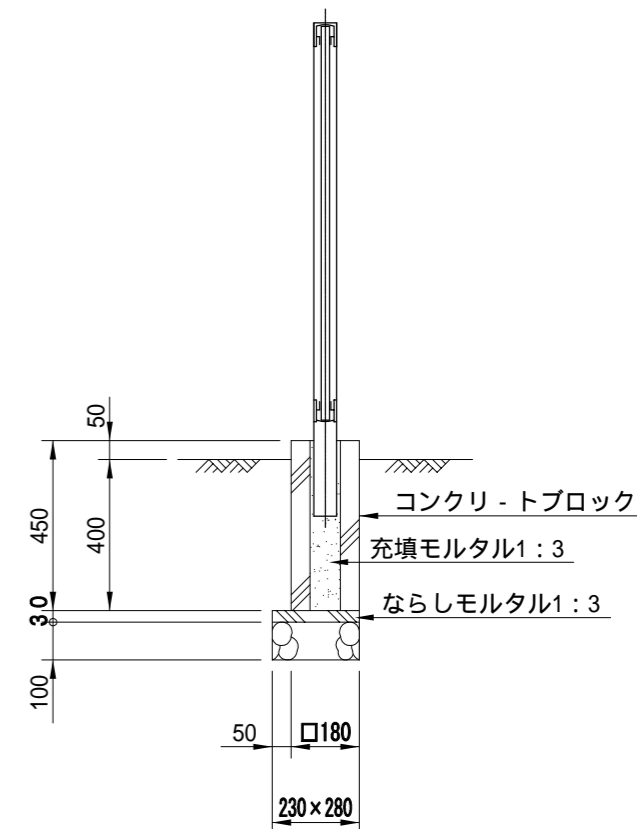
S=1:20



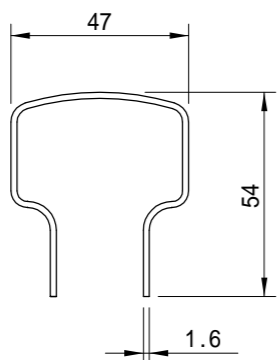
布基礎



独立基礎



胴縁断面図 S=1:2



設計条件

設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。

備考

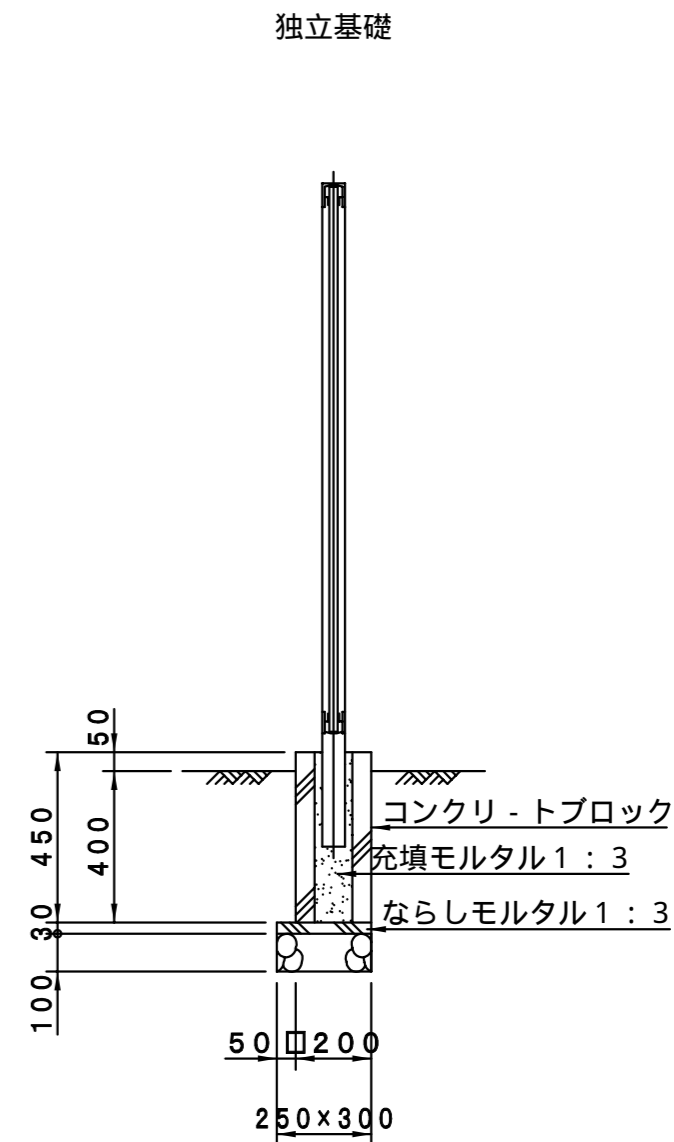
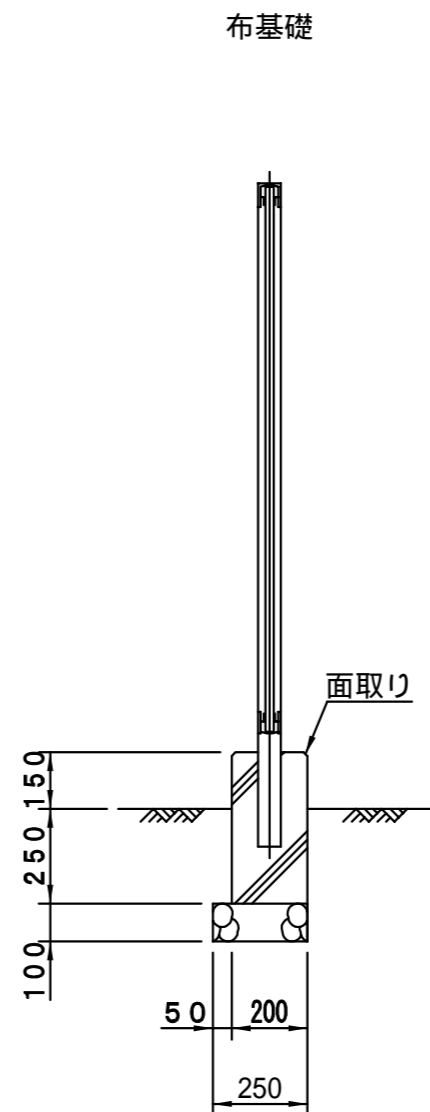
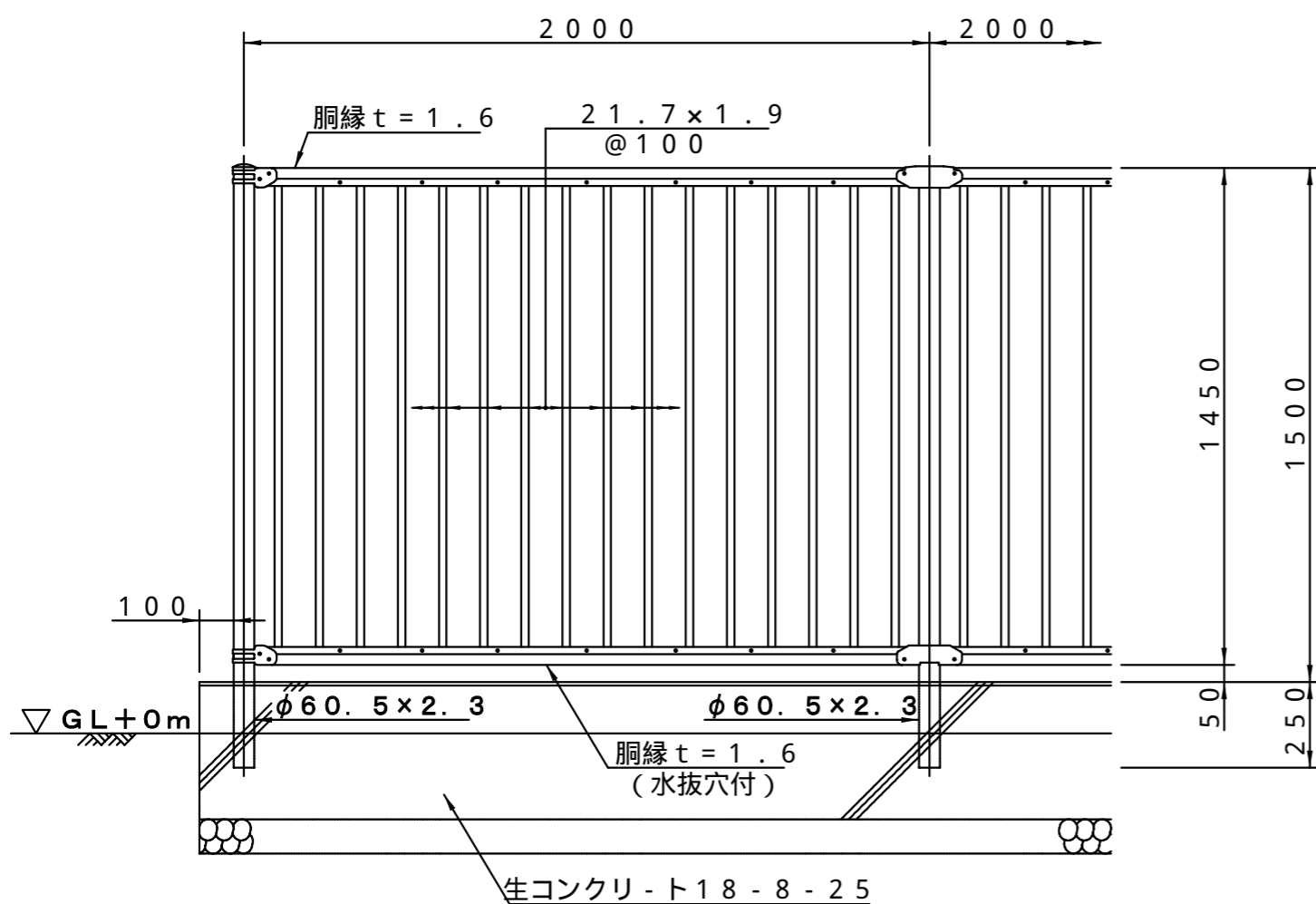
1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル樹脂静電粉体塗装とする。但し、ボルト・ナット類は溶融亜鉛めっきのみとする。
2. 外装の色は、ダークブラウン色とする。
3. 布基礎の場合、伸縮目地(厚10mm)は、基本的に1箇所/10m以内及び構造の異なる箇所を設置すること。

千葉県公園工事標準図

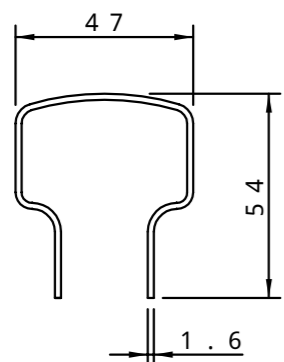
図面名	外柵D
番号	21
縮尺	A3 S=1:30

千葉県都市局公園緑地部

S = 1 / 2 0



胴縁断面図 S = 1 / 2



設計条件

設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。

備考

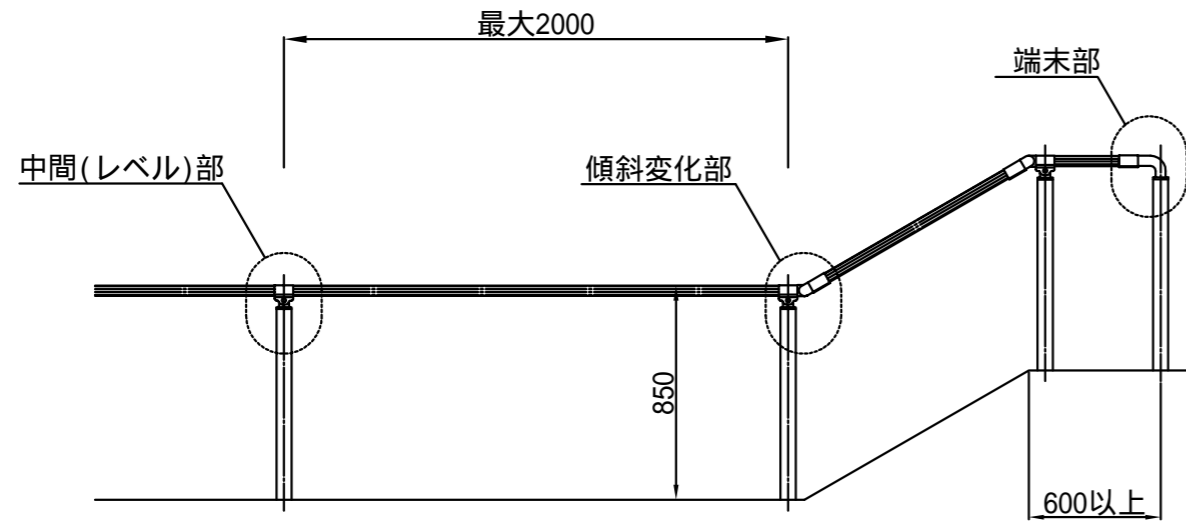
1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上アクリル樹脂静電粉体塗装とする。但し、ボルト・ナット類は溶融亜鉛めっきのみとする。
2. 外装は、ダークブラウン色とする。
3. 布基礎の場合、伸縮目地(厚10mm)は、基本的に1箇所/10m以内及び構造の異なる箇所に設置すること。

千葉市公園工事標準図

図面名	外柵D
番号	22
縮尺	A3 S=1:30

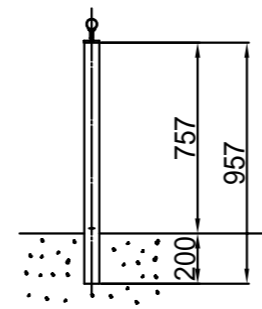
千葉市都市局公園緑地部

立面図

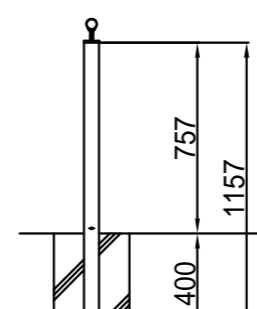


側面図

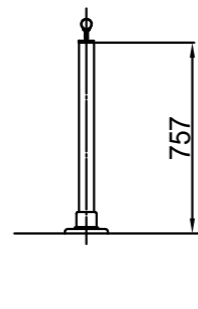
連続基礎式



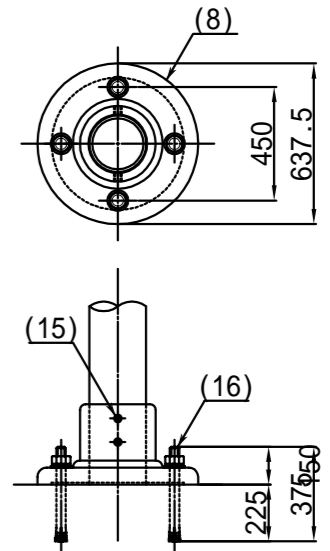
独立基礎式



ベース式



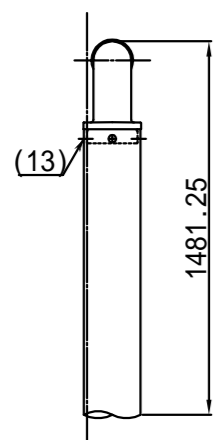
ベース詳細図



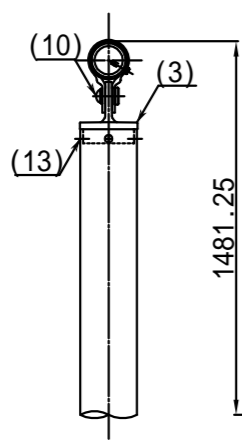
製品は、メーカーの指定する損害賠償責任保険に加入しているものとする。

部番	名称	形状	材質	表面処理
(1)	支柱	60×3.0t	A6N01S-T5	JIS H 8602 陽極酸化塗装複合皮膜 (MB色)
(2)	手摺	40 (36×3.0t)	A6N01S-T5	再生木材表層 サンディング仕上
(3)	キャップ金具A	60 用	ADC	ポリエステル系粉体塗装 (マットブラウン色)
(4)	キャップ金具B	40用 (巾=74)	A6063S-T5	
(5)	フレキシブル金具A	40用 (2ヶ/セット)	ADC	
(6)	フレキシブル金具B	40用 (巾=75)	A6063S-T5	
(7)	端末手摺	40	AC4C	
(8)	ベースボックス	170	AC7A	
(9)	化粧ナット	M8用	ADC	SUS
(10)	六角穴付ボタンボルト	M8×15 B,W	ブロンズ色	
(11)	六角穴付ボルト	M8×20 B,SW		
(12)	ピアスビス(ナベ)	4×19 B		
(13)	ピアスビス(皿)	4×19 B		
(14)	六角穴付止ネジ	M6×6 B		
(15)	六角穴付止ネジ	M8×10 B		
(16)	アンカーボルト	M10×100		

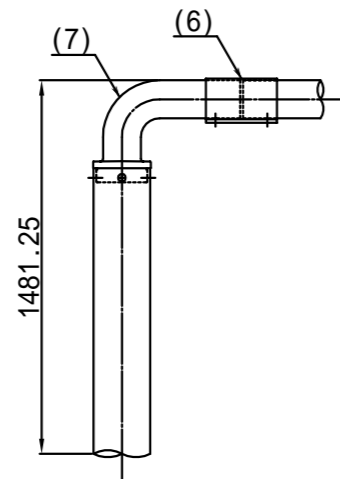
端末部側面



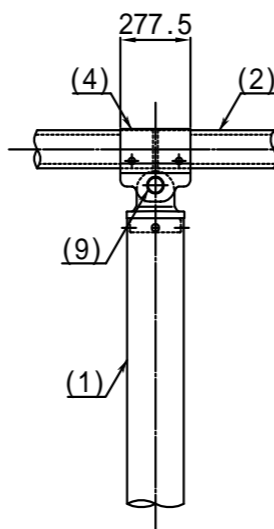
中間部側面



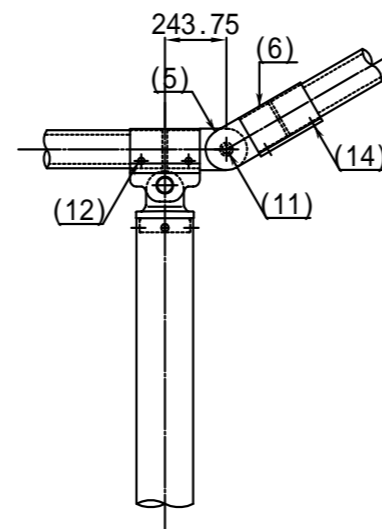
端末部



中間部



傾斜変化部

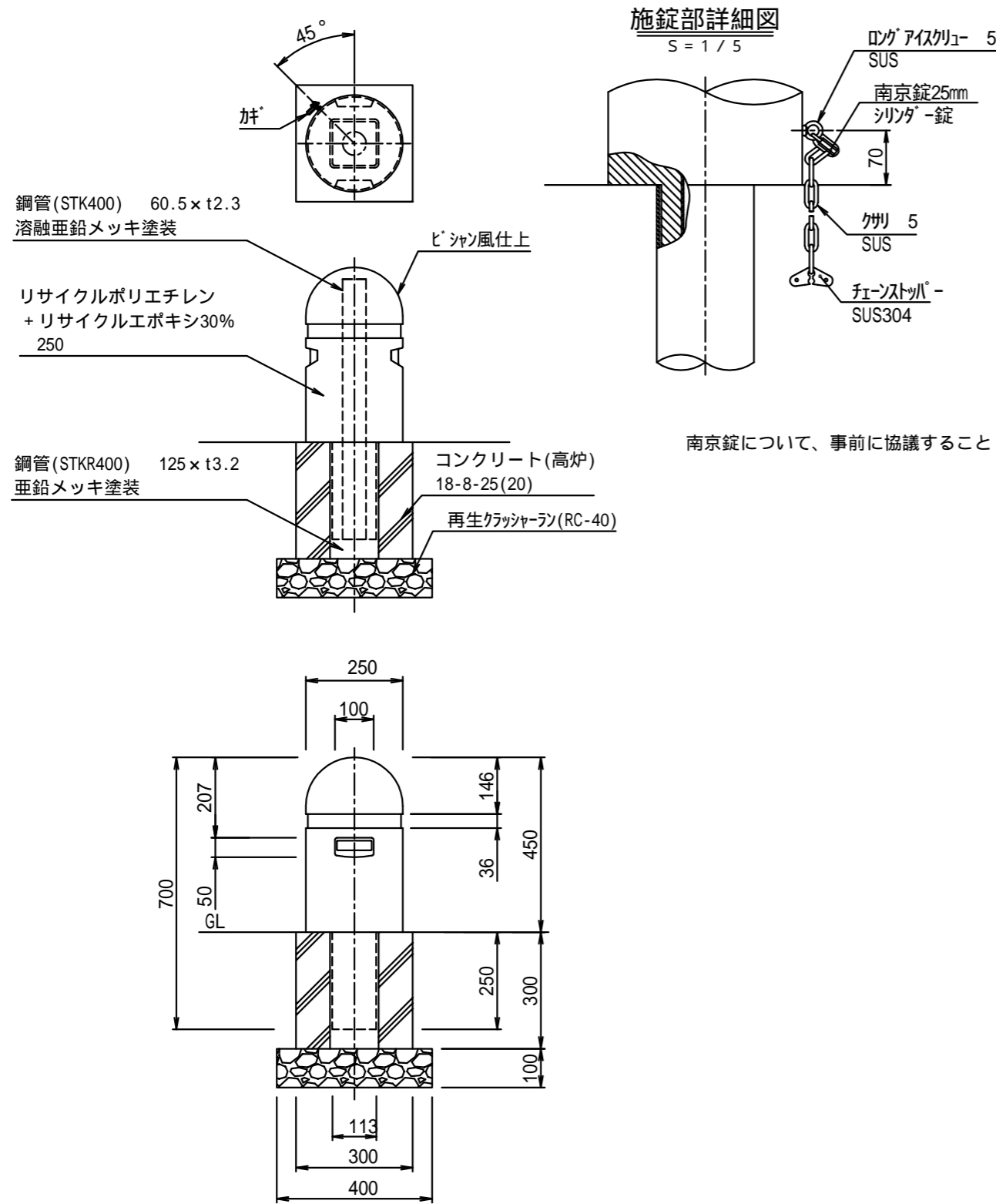


千葉市公園工事標準図

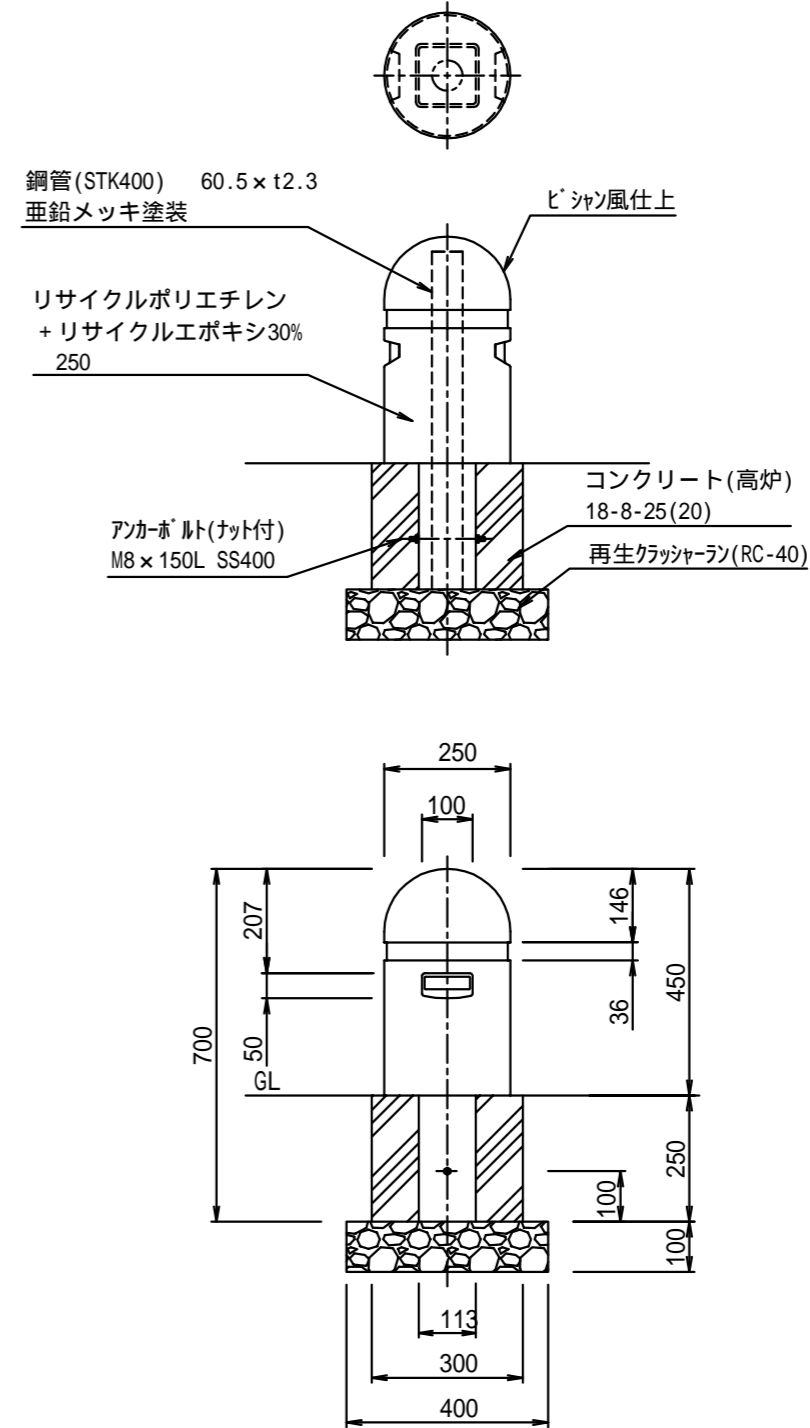
図面名	手すり
番号	23
縮尺	A3 S=1:30

千葉市都市局公園緑地部

車止め(可動式)

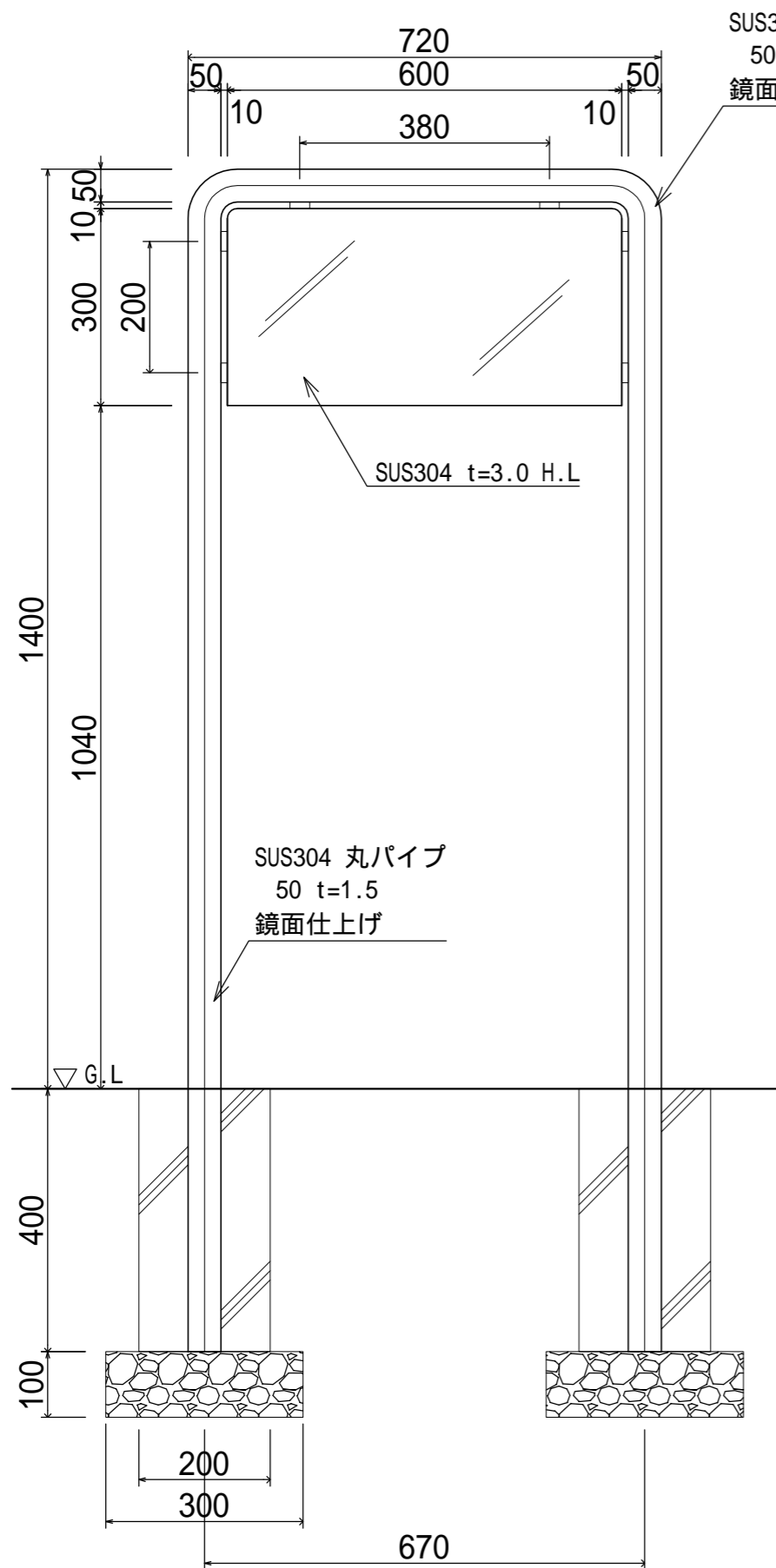


車止め(固定式)

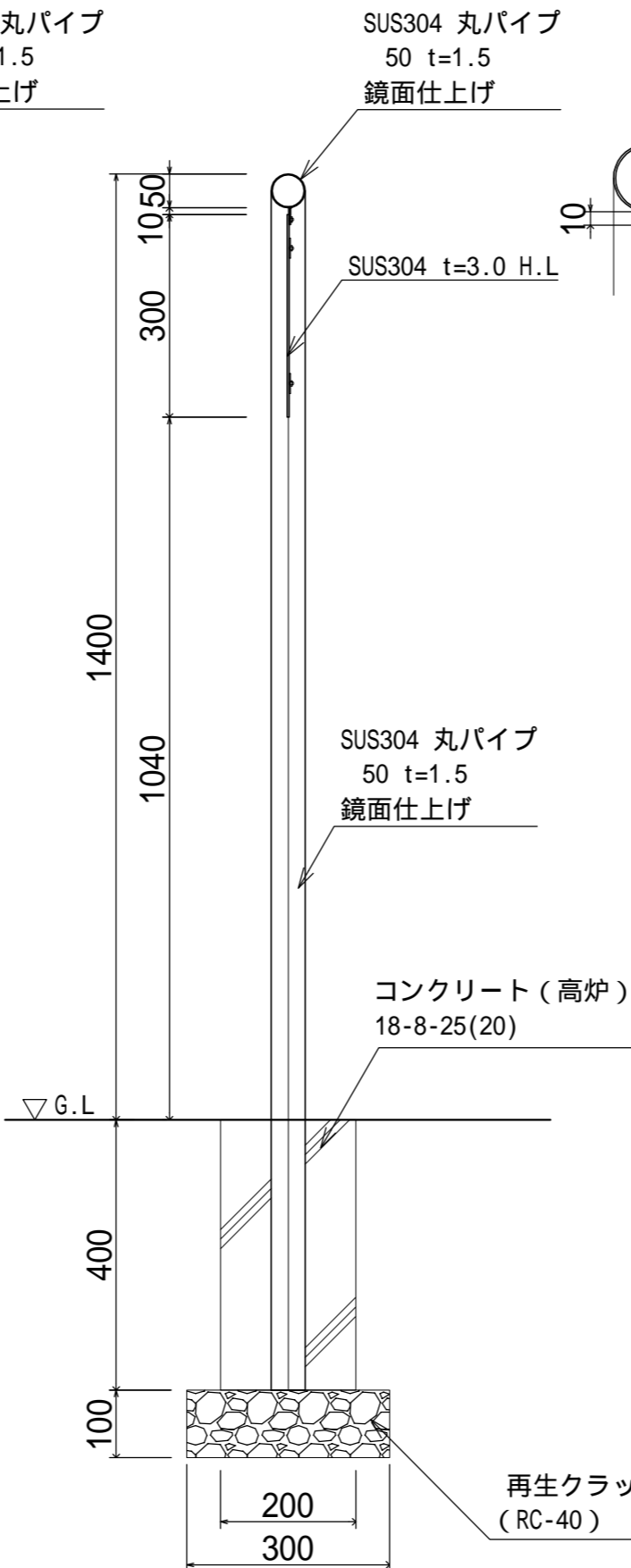


千葉県公園工事標準図	
図面名	車止め
番号	24
縮尺	A3 S=1:15

千葉県都市局公園緑地部

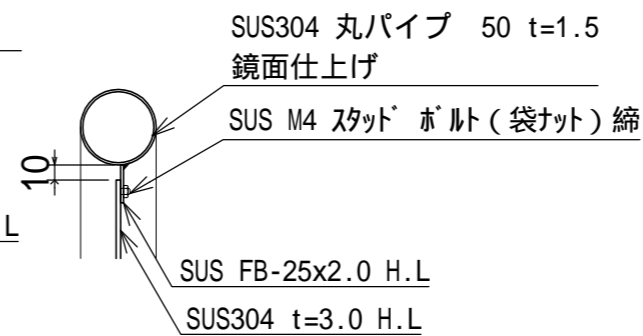


正面図 S=1:10

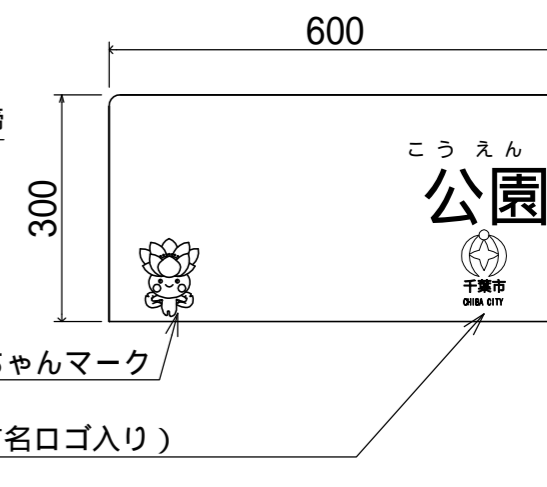


断面図 S=1:10

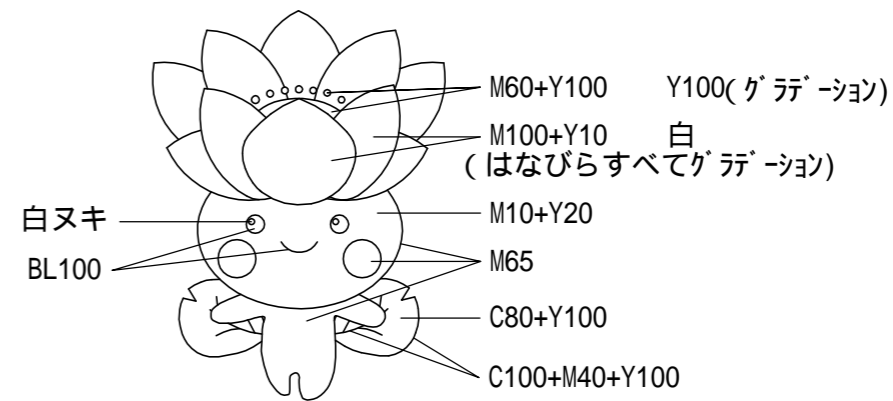
詳細図 S=1:5



文字配置図 S=1:10



ちはなちゃんマーク



表示仕様：屋外高耐候性インクジェット印刷の上から保護シート張りや珪酸質コーティングを施すなど10年以上の耐候性を有するものとする。
公園名にはふりがなを添える。

着 色：公園名 = 黒(数字の表記は原則として算用数字)
市章 = DIC388(濃緑色)
市名ロゴ = 黒

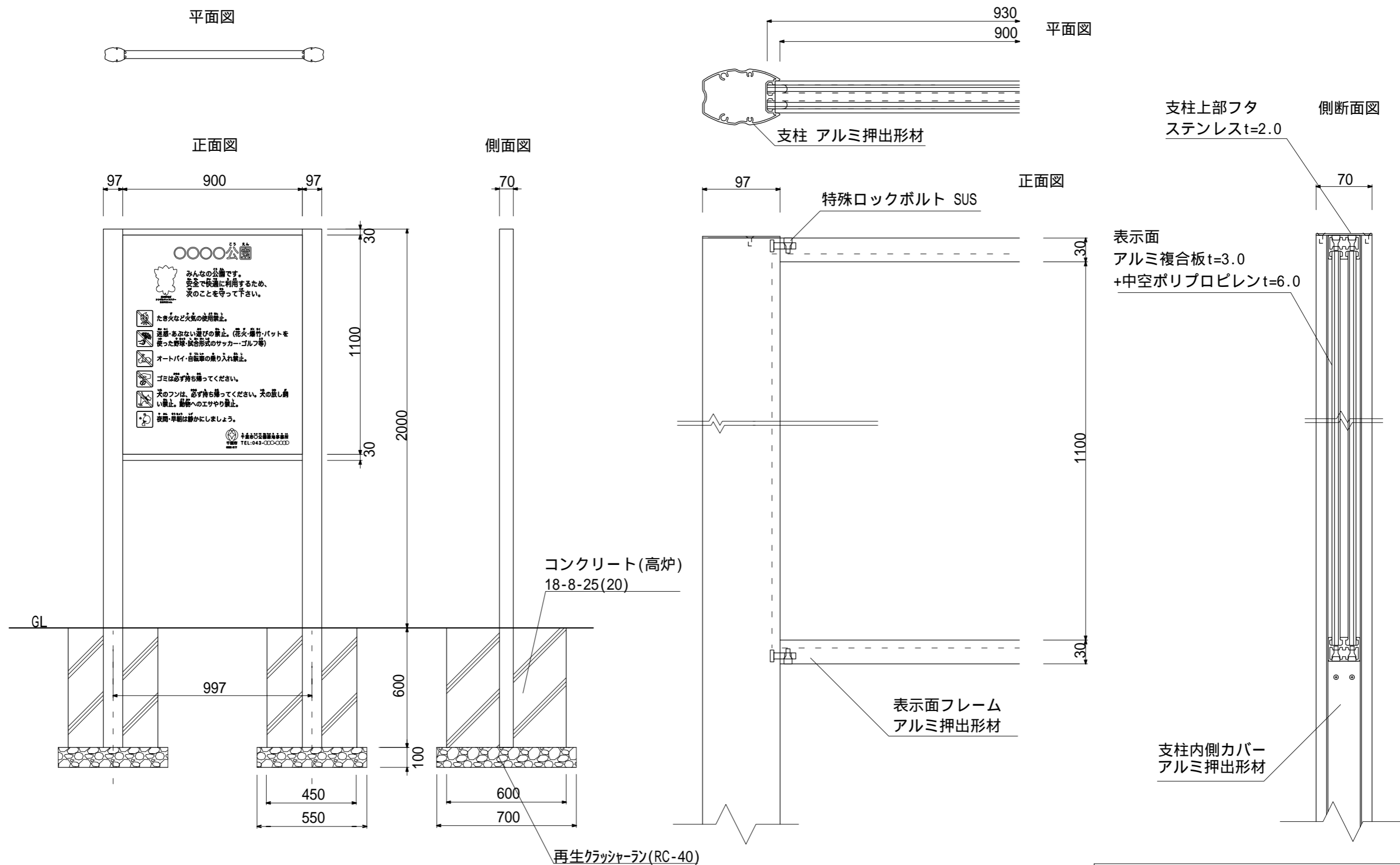
書 体：文字 = ゴナDB
数字 = ヘルベチカ・レギュラー

鋼材はSUS304鏡面仕上げ(板はHL仕上げ)とする。

公園施設標準図

図面名	園名板
番号	25
縮尺	A3 図示

千葉市都市局公園緑地部



表示は、屋外高耐候性インクジェット印刷の上から保護シート張りや珪酸質コーティングを施すなど10年以上の耐候性を有するものとする。
 支柱は、アルミ押出形材で熱硬化性アクリル樹脂塗装(ブラウン色)仕上げとする。
 フレームは、アルミ押出形材で熱硬化性アクリル樹脂塗装(ブラウン色)仕上げとする。
 表示基板は、アルミ複合板(t=3.0、ホワイト色)とする。
 本製品は、ISO 9001:2008認証取得企業製品とする。
 (社)日本公園施設業協会賠償責任制度による、賠償責任保険加入製品とする。

公園施設標準図	
図面名	制札板
番号	26
縮尺	A3 S=1:20

千葉県都市局公園緑地部